

参考資料

平成 19 年

全国一級河川の水質現況

(速報版)

平成 20 年 8 月

国土交通省河川局河川環境課

目 次

1. 生活環境の保全に関する環境基準の項目からみた水質の現況	1
(1) 水質調査地点	1
(2) 評価項目	2
(3) 環境基準の満足状況	3
① 環境基準の類型指定状況	3
② 調査地点の環境基準の満足状況	4
③ 類型別の環境基準の満足状況	6
(4) 調査地点のランク別水質状況	8
(5) 代表地点の水質状況	13
① 類型指定と環境基準の満足状況	13
② 河川及び湖沼の代表地点の水質状況の経年変化	15
2. 「人と川のふれあい」からみた水質の現況	20
3. 一級河川の平均水質（河川ランキング）	22
4. 一級河川の全調査地点の水質	25
5. 新しい水質指標からみた水質の現況	44

1. 生活環境の保全に関する環境基準の項目からみた水質の現況

(1) 水質調査地点

水質調査は、昭和33年に8水系54地点において開始され、その後調査地点を増やし今日に至っている。

平成19年における一級河川の水質調査は、湖沼を含む直轄管理区間（一部指定区間を含む）の109水系1,102地点において実施している^{注1}。直轄管理区間の河川延長が約10,400km（平成19年4月現在）であることから、平均すると延長約9kmに1地点の割合で水質調査を実施したことになる。国土交通省ではこれらの地点において原則として月1回水質調査を実施している。

なお、本報告では、都道府県が観測している直轄管理区間内の15地点を含め1,117地点のデータを対象にとりまとめを行った。

^{注1} 調査地点としては1,102地点であるが、平成19年に観測を行ったのは1,098地点である。肝属川水系肝属川/朝日橋地点では工事により観測を休止している。川内川水系川内川/鶴田ダムST-II、鶴田ダム監視点-I、鶴田ダム監視点-ロの3地点では、観測地点の見直しを行い、現在、休止としている。

(2) 評価項目

生活環境の保全に関する環境基準の項目からみた水質の現況について、河川の場合は水質汚濁の代表指標であるBOD^{注2}（生物化学的酸素要求量）75%値^{注3}、湖沼及び海域の場合は水質汚濁の代表指標であるCOD^{注4}（化学的酸素要求量）75%値及び総窒素、総リン^{注5}の年間平均値によって把握した。

「(3) 環境基準の満足状況」において、河川とは湖沼を除く地点であり、湖沼とは天然湖沼及び貯水量が1,000万立方メートル以上であり、かつ、水の滞留時間が4日間以上である人工湖を示す。

「(4) 調査地点のランク別水質状況」、「2. 「人と川のふれあい」からみた水質の現況」においては、河川類型指定のダム貯水池についても湖沼に準じて扱うこととする。

^{注2} BOD(Biochemical Oxygen Demand)とは、溶存酸素存在のもとで水中の有機物を栄養源として好気性微生物が増殖・呼吸するときに消費される酸素量で、20℃5日間で消費される溶存酸素量(mg/l)を標準とする。一般的に水質汚濁を示す代表的な指標で、水質関係の各種法令で規制項目として採用されている。

^{注3} BOD及びCODにおける環境基準の達成状況は、公共用水域が通常の状態(河川にあつては低水流量以上の流量)にあるときの測定値によって判断することとなっている。しかし、低水流量時の水質の把握が非常に困難であるため、BOD及びCODについては測定された年度のデータのうち、75%以上のデータが基準値を達成することをもって評価することとしたものである。例えば、月一回の測定の場合、日平均値を水質の良いものから12個並べたとき、水質の良い方から9番目が75%値となる。この値が基準値に適合することをもって、当該測定地点において環境基準を達成しているとみなすこととされている。

^{注4} COD(Chemical Oxygen Demand)とは、水中の有機物等を過マンガン酸カリウム(KMnO₄)または重クロム酸カリウム(K₂Cr₂O₇)で化学的に酸化するとき消費される酸化剤の量を、対応する酸素量であらわしたものである。BODと同様、水質汚濁を示す代表的指標である。

^{注5} 総窒素、総リン：総窒素とは、窒素化合物全体を示し、総リンはリン化合物全体を示す。窒素、リンはともに動植物の増殖に欠かせない元素であり、植物プランクトンの増殖に関与するため、富栄養化の目安となるものである。

(3) 環境基準の満足状況^{注6}

①環境基準の類型指定状況

環境基準の類型指定は、全国の一級河川109水系すべてについて行われている。このうち、直轄管理区間における類型指定延長は、全体で約9,210kmであり、その内訳はAA類型区間：約970km、A類型区間：約5,580km、B類型区間：約2,280km、C類型区間：約240km、D類型区間：約110km、E類型区間：約30kmとなっている。平成19年は、8地点において新たに類型指定された。(表-1参照)。

表-1 新たに類型指定された地点の一覧

平成18年	平成19年	地点数	備考
—	AA	1	新規 (8地点)
—	A	5	
—	湖A	2	

^{注6} 環境基準の満足状況

本報告は、国土交通省が河川管理者の立場から実施した全国一級河川の水質調査結果をとりまとめたものである。

本報告で「満足」とする表現を用いているのは、水質汚濁防止法に基づき年度毎に公共用水域の水質の汚濁状況を環境基準との比較で評価する場合の「達成」とする表現と区別するためである。

②調査地点の環境基準の満足状況

平成19年における類型指定区間内の調査地点は全国で1,004地点（河川908地点、湖沼94地点、海域2地点）となっている^{注7}。

これらの調査地点における環境基準を満足している地点の割合を表-2に示す。

平成19年の環境基準を満足している地点の割合は、河川、湖沼とも平成18年とほぼ同じで、河川は94%、湖沼は37%であった。全体では88%と過去最高であり、過去4年間と同程度であった。

^{注7}調査地点としては1,008地点であるが、平成19年に観測を行ったのは1,004地点で、肝属川水系肝属川/朝日橋地点、川内川水系川内川/鶴田ダムST-II、鶴田ダム監視点-I、鶴田ダム監視点-ロの4地点では、観測を行っていない。なお、琵琶湖については調査地点が多いことから、環境基準点のみを評価対象とした。

表-2 河川、湖沼、海域別環境基準を満足している地点数及び割合

	平成18年			平成19年		
	調査地点数	満足している地点数	割合	調査地点数	満足している地点数	割合
河川	911	845	93%	908	851	94%
湖沼	94	34	36%	94	35	37%
海域	2	2	100%	2	1	50%
全体	1,007	881	87%	1,004	887	88%

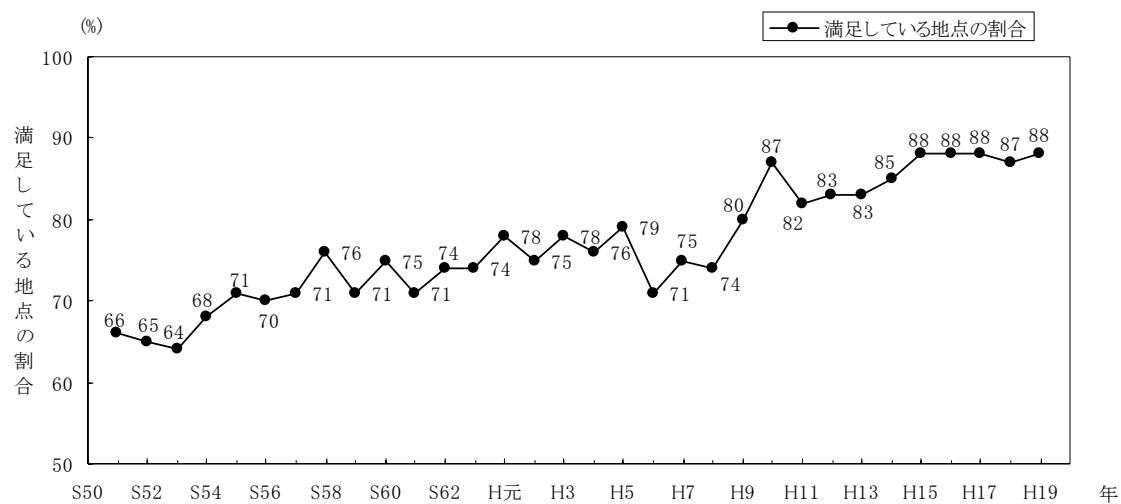
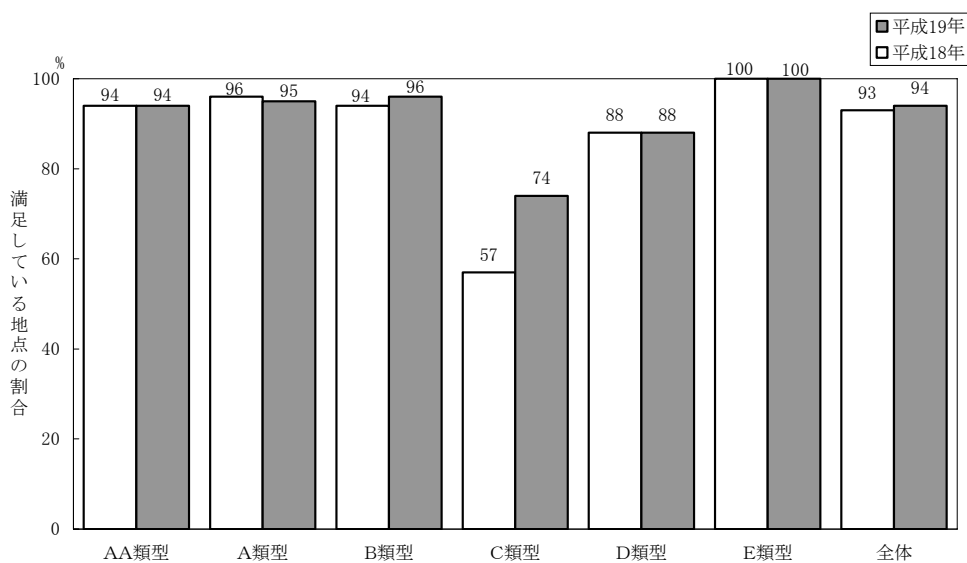


図-1 一級河川(湖沼及び海域も含む。)において環境基準を満足している地点の割合の経年変化

③類型別の環境基準の満足状況

平成19年における類型指定区間内の調査地点1,004地点のうち、環境基準を満足している地点の類型別割合を、河川及び湖沼についてそれぞれ図-2(1)、図-2(2)に示す。

河川における環境基準^{注8}を満足している地点の割合は、B類型とC類型は増加、その他の類型ではほぼ同程度を示しており、全体としては平成18年と同程度の94%であった。E類型については、前年に引き続き全ての調査地点で環境基準を満足していた。



調査地点数	平成18年	93	497	242	54	17	8	911
	平成19年	94	496	241	53	17	7	908

図-2(1) 一級河川における環境基準を満足している地点の類型別割合 (河川)^{注9}

^{注8} 河川における環境基準

- AA類型 : BOD 1 mg/ℓ以下
- A類型 : BOD 2 mg/ℓ以下
- B類型 : BOD 3 mg/ℓ以下
- C類型 : BOD 5 mg/ℓ以下
- D類型 : BOD 8 mg/ℓ以下
- E類型 : BOD 10mg/ℓ以下

^{注9} 河川における調査地点は、地点の新設と廃止により平成19年は909地点となったが、1地点(肝属川水系肝属川/朝日橋地点 : C類型)において観測を行っておらず、これを除いて集計している。

また、湖沼における環境基準^{注10}を満足している地点の割合は、全体として平成18年とほぼ同程度の37%であった。AA類型については、前年に引き続きすべての地点で環境基準を満足することができなかった。

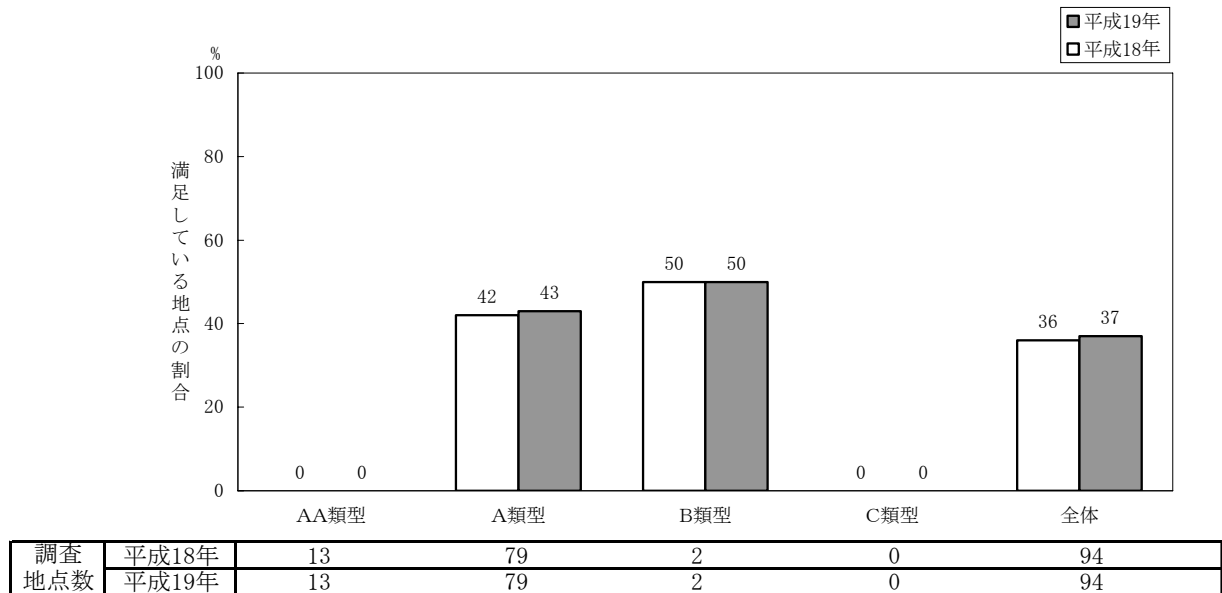


図-2(2) 一級河川における環境基準を満足している地点の類型別割合（湖沼）^{注11}

^{注10} 湖沼における環境基準

- AA類型：COD 1 mg/ℓ以下
- A類型：COD 3 mg/ℓ以下
- B類型：COD 5 mg/ℓ以下
- C類型：COD 8 mg/ℓ以下

^{注11} 湖沼における調査地点は、地点の新設と廃止により平成19年は97地点となったが、川内川水系川内川/鶴田ダムST-II、鶴田ダム監視点-I、鶴田ダム監視点-口の3地点（いずれも湖A類型）において観測を行っておらず、これを除いて集計している。

(4) 調査地点のランク別水質状況

全調査地点のうち、河川（湖沼等を除く。以下「河川」という。）におけるBODを観測した919地点^{注12}について、BOD75%値のランク別割合を図-3に示す。

河川におけるBOD75%値のランク別割合は、1.0mg/ℓ以下が47.4%、1.1～2.0mg/ℓが35.9%と大きな割合を占める。また、3.0mg/ℓ以下（水道1～3級^{注13}）の合計は、平成18年と同程度の92.8%であった。また、3.1mg/ℓ以上の各ランク別割合も平成18年と比較して約1%以内の変動であり、ほぼ同程度である。

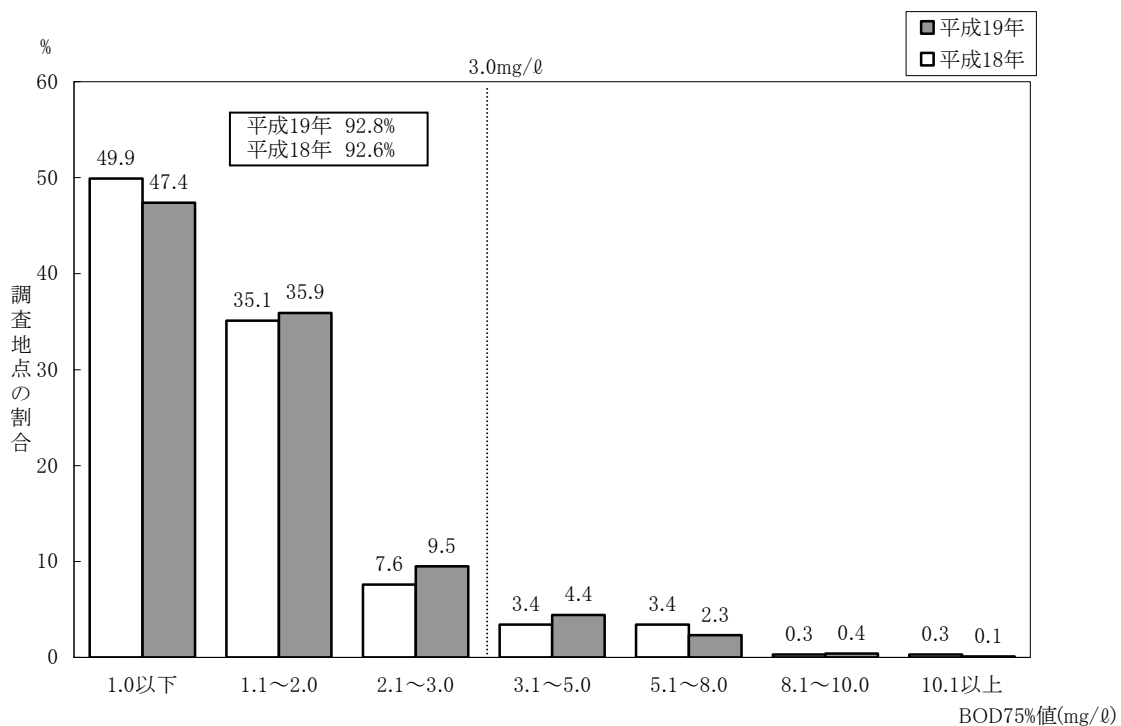


図-3 BOD75%値ランク別割合（河川）

^{注12} 河川の調査地点としては923地点であるが、1地点（肝属川水系肝属川/朝日橋地点）で観測を行っておらず、3地点がBOD観測を行わない調査地点である。

^{注13} 水道1級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
 水道2級：沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
 水道3級：前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの

湖沼、海域及びダム貯水池（以下「湖沼等」という。）における調査地点191地点^{注14}について、COD75%値及び総窒素、総リン平均値のランク別割合をそれぞれ図-4（1）、図-4（2）、図-4（3）に示す。

湖沼等におけるCOD75%値のランク別割合は、1.1～3.0mg/ℓの割合が57.1%と最も大きい。また、3.0mg/ℓ以下（水道1～3級）の合計の割合は57.6%で平成18年の57.3%と同程度であった。

総窒素平均値のランク別割合は、0.21～0.40mg/ℓの割合が46.6%と最も大きい。また、0.40mg/ℓ以下（水道1～3級）の合計は全体の50.8%を占めており、平成18年と比較すると46.1%から4.7ポイント増加している。

総リン平均値のランク別割合は、0.011～0.030mg/ℓの割合が38.2%と最も大きく、次いで0.006～0.010mg/ℓの割合が30.4%となっている。0.030mg/ℓ以下（水道1～3級）の合計が全体の74.4%を占めており、平成18年と比較すると71.1%から3.3ポイント増加している。

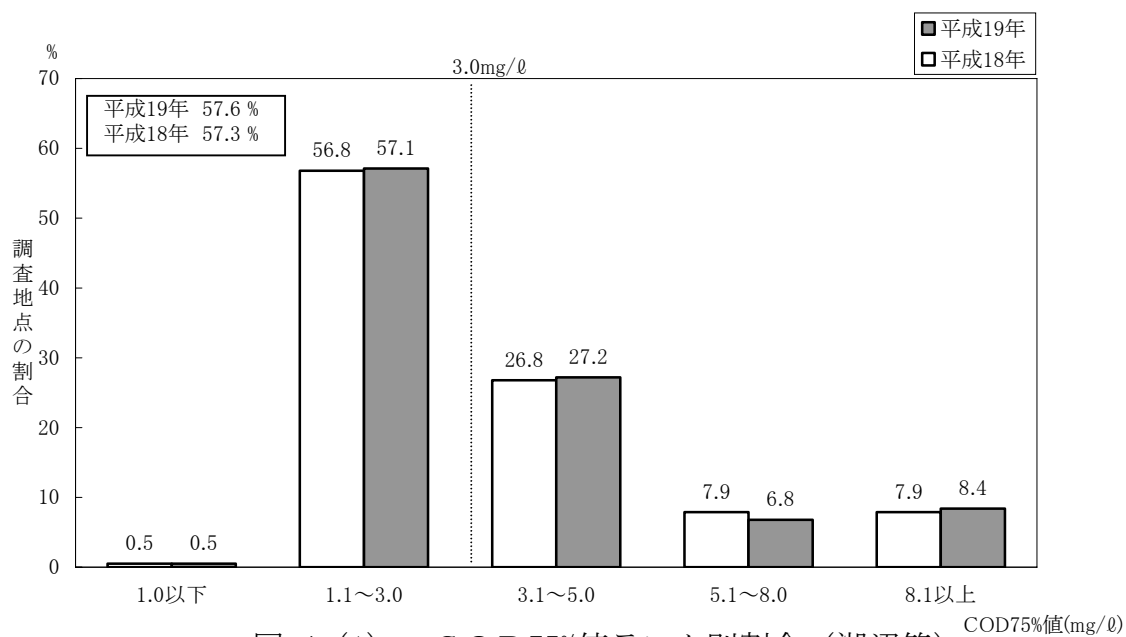


図-4（1） COD75%値ランク別割合（湖沼等）

^{注14}湖沼等における調査地点としては194地点であるが、3地点(川内川水系川内川/鶴田ダムST-II、鶴田ダム監視点-I、鶴田ダム監視点-ロ)で未観測である。

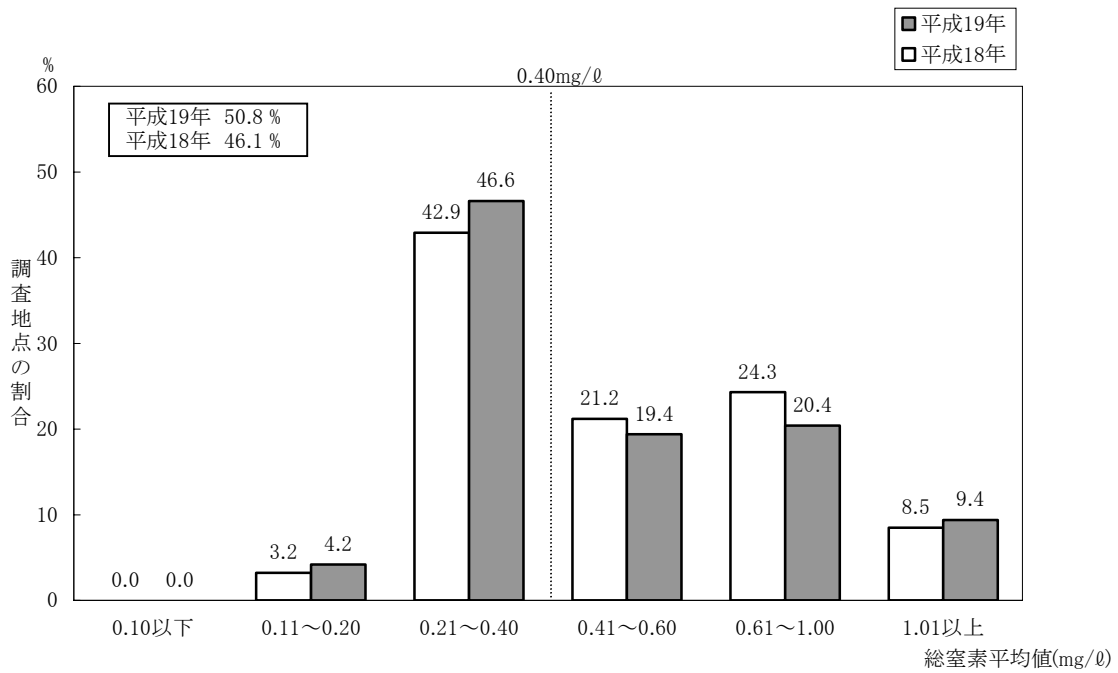


図-4 (2) 総窒素平均値ランク別割合 (湖沼等)

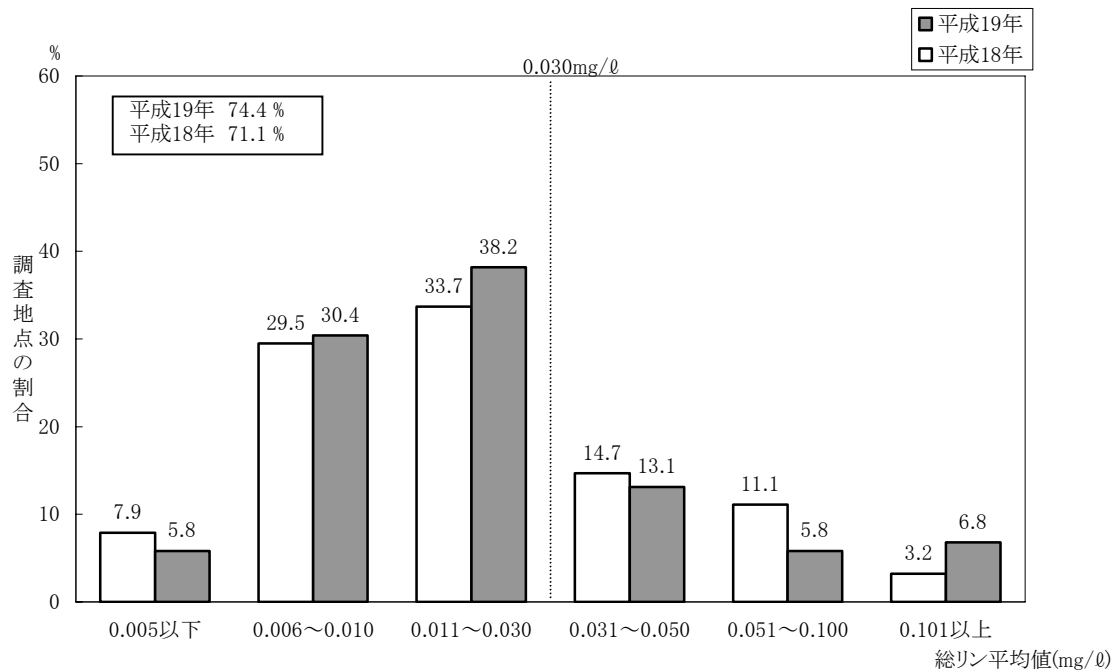


図-4 (3) 総リン平均値ランク別割合 (湖沼等)

河川のBOD75%値のランク別割合の最近10年間の経年変化を図-5に、湖沼等のCOD75%値及び総窒素、総リン平均値のランク別割合の経年変化をそれぞれ図-6(1)、図-6(2)、図-6(3)に示す。

河川の水質のうち、BOD75%値の3.0mg/ℓ以下の割合については、平成12年以降は徐々に増加する傾向にある。

湖沼等の水質のうち、COD75%値の3.0mg/ℓ以下の割合、総窒素平均値の0.40mg/ℓ以下の割合及び総リン平均値の0.030mg/ℓ以下の割合については、最近10年間ほぼ横這いの傾向を示している。なお、湖沼等の閉鎖性水域においては、総窒素及び総リンは、富栄養化現象の原因物質となるので注意を要する。

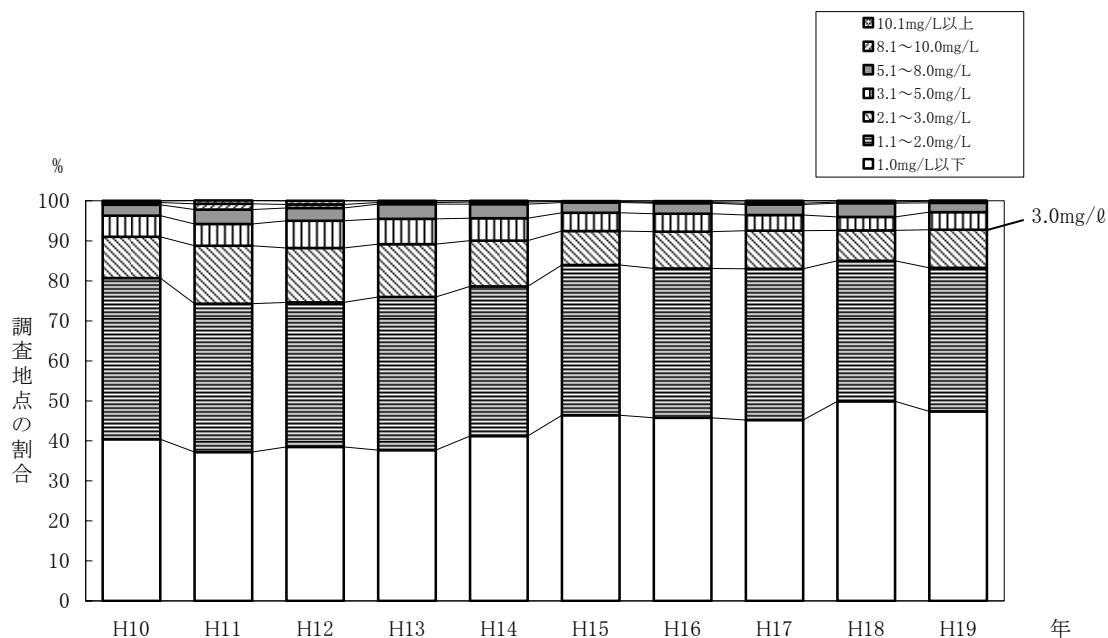


図-5 BOD75%値ランク別割合の経年変化（河川）

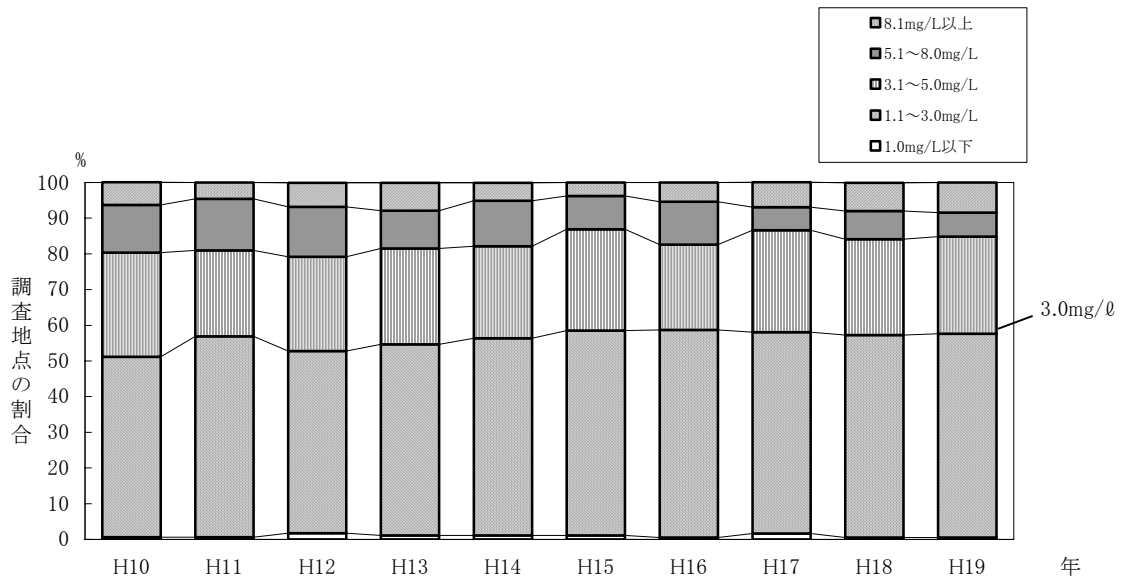


図-6 (1) COD75%値ランク別割合の経年変化 (湖沼等)

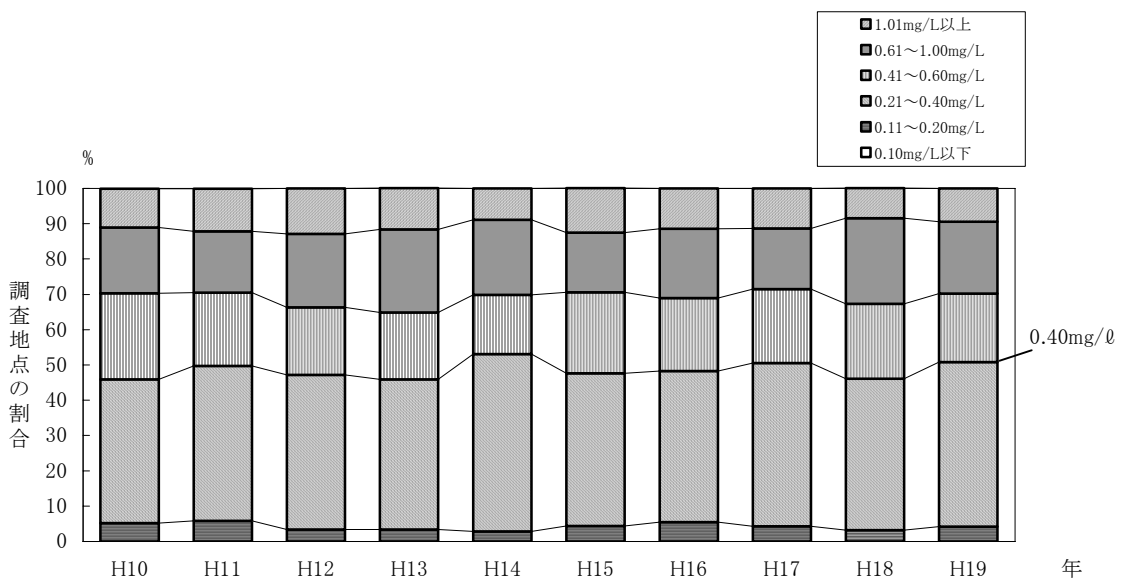


図-6 (2) 総窒素平均値ランク別割合の経年変化 (湖沼等)

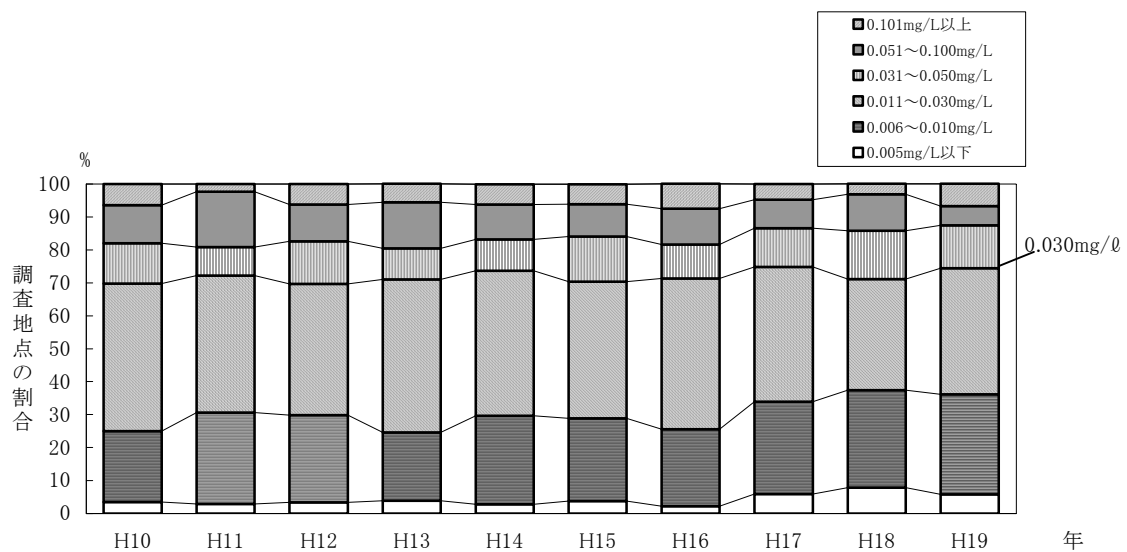


図-6 (3) 総リン平均値ランク別割合の経年変化 (湖沼等)

(5) 代表地点の水質状況

① 類型指定と環境基準の満足状況

一級河川の全調査地点のうち主要な地点について、各調査地点の環境基準の類型指定状況及びBOD75%値（またはCOD75%値）のランク別の水質状況を図-7に示す。全国的にみると大都市部を流れる一部の河川や湖沼を除き、概ね良好な水質が確保されていることがわかる。

なお、全調査地点の類型指定、平成19年のBOD（COD）平均値及び75%値は、「4. 一級河川の全調査地点の水質」に示す。

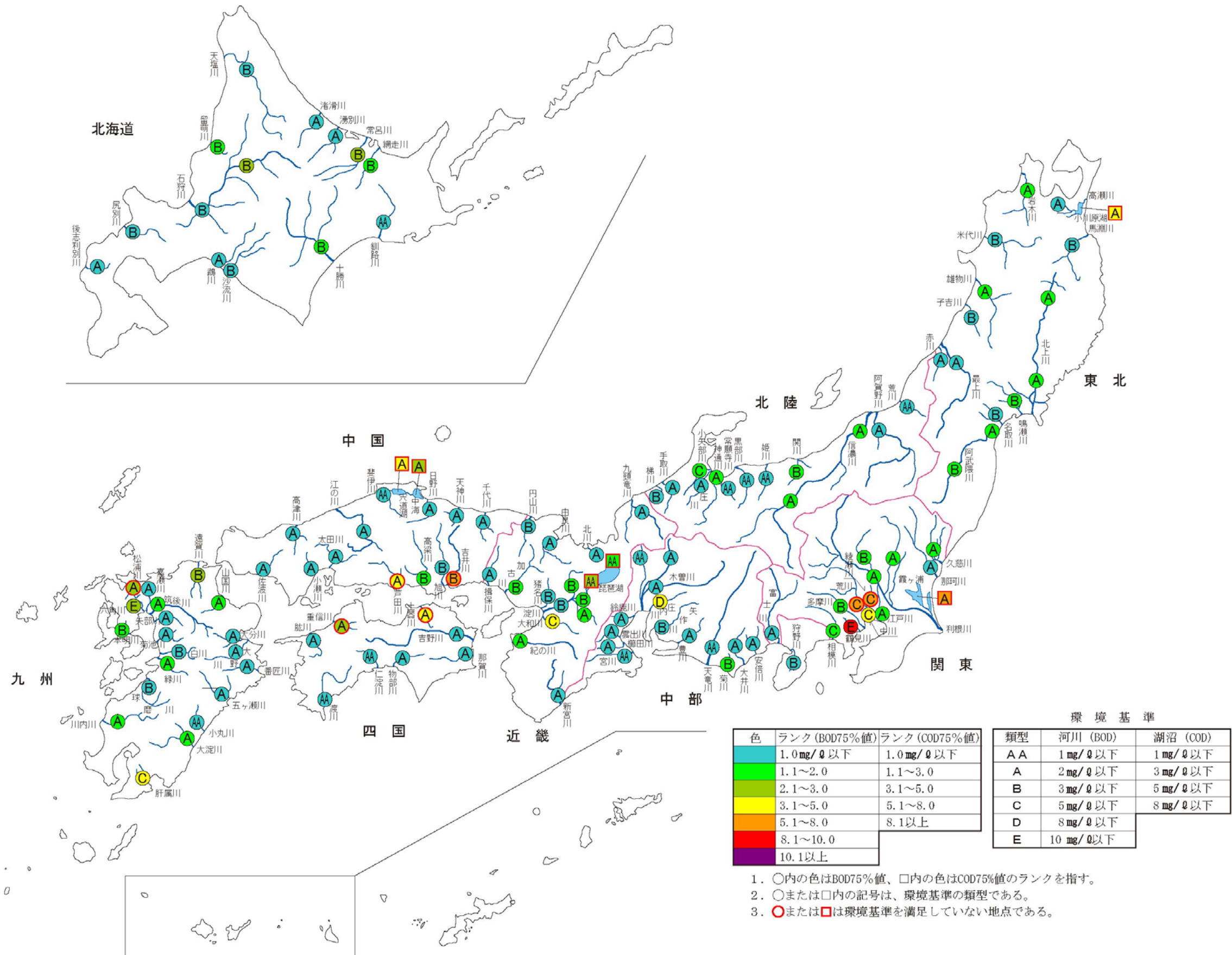


図-7 平成19年一級河川の水質状況図
 (河川主要地点はBOD75%値 湖沼主要地点はCOD75%値)

②河川及び湖沼の代表地点の水質状況の経年変化

各地方を代表する主要河川及び都市河川の代表地点について、BOD75%値の経年変化をそれぞれ図-8(1)～図-8(3)、図-9に示す。

各地方の主要河川の代表地点は、最近ではBOD75%値が概ね2.0mg/ℓ以下の良好な水質を維持している。

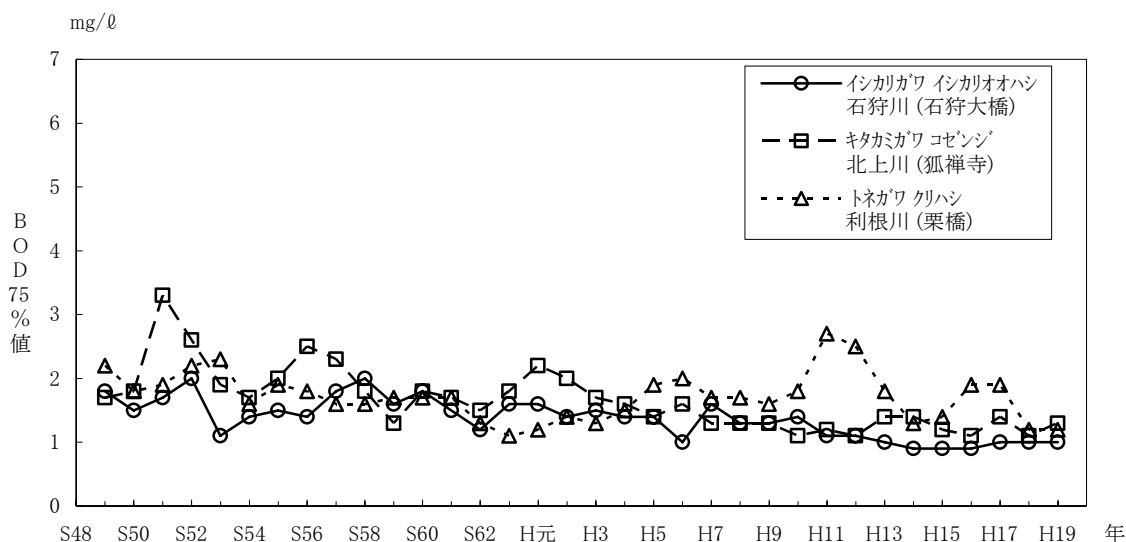


図-8 (1) 主要河川の代表地点におけるBOD75%値の経年変化

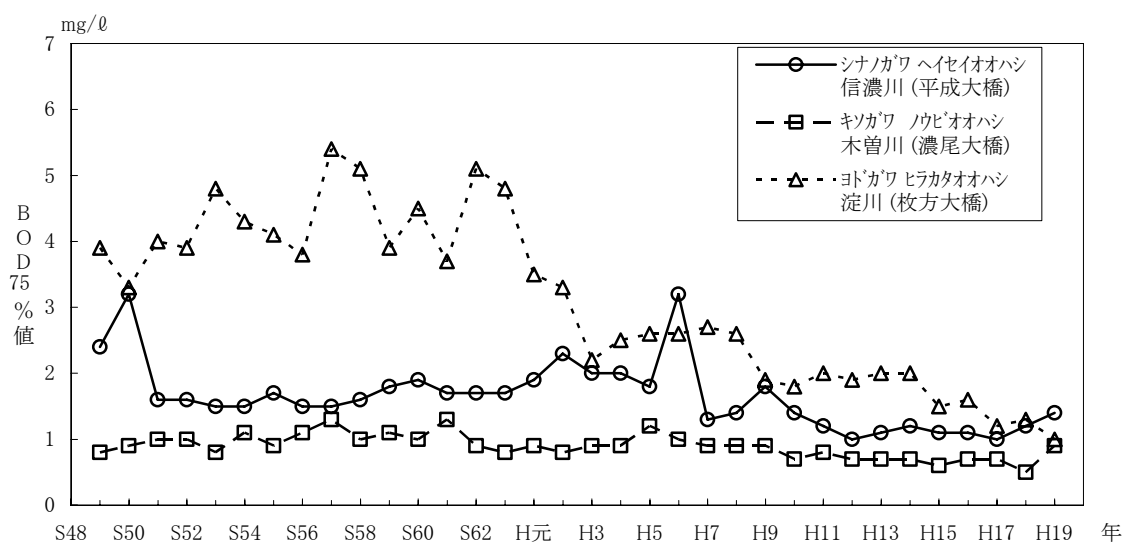


図-8 (2) 主要河川の代表地点におけるBOD75%値の経年変化

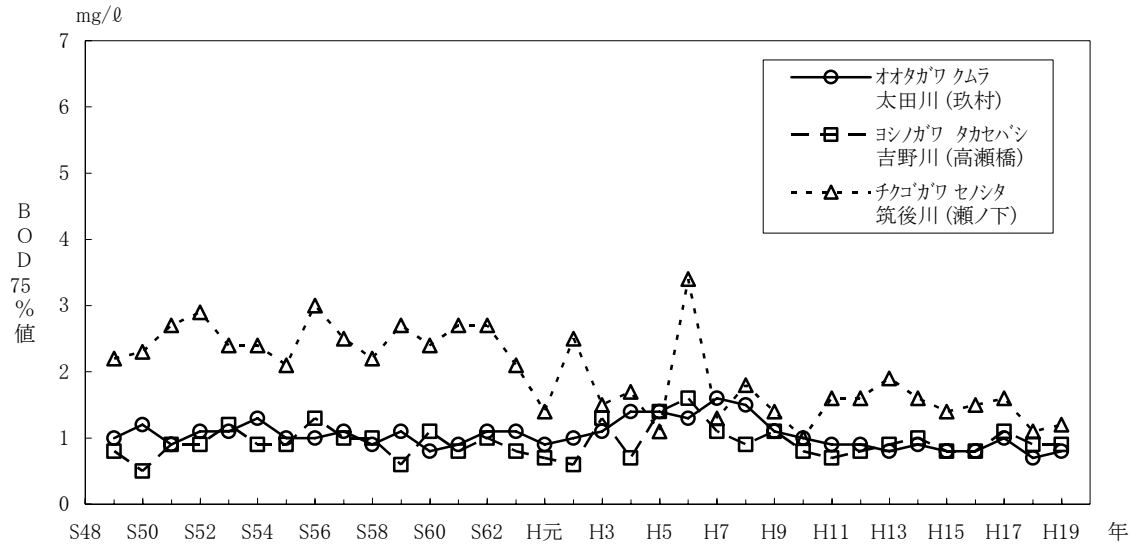


図-8 (3) 主要河川の代表地点におけるBOD75%値の経年変化

大都市部を流下する大和川等の河川の水質は、近年かなり改善されてきている。平成19年では、鶴見川（大綱橋）でBOD75%値が8.6mg/l、そのほかの地点は2~5mg/l程度となっている。

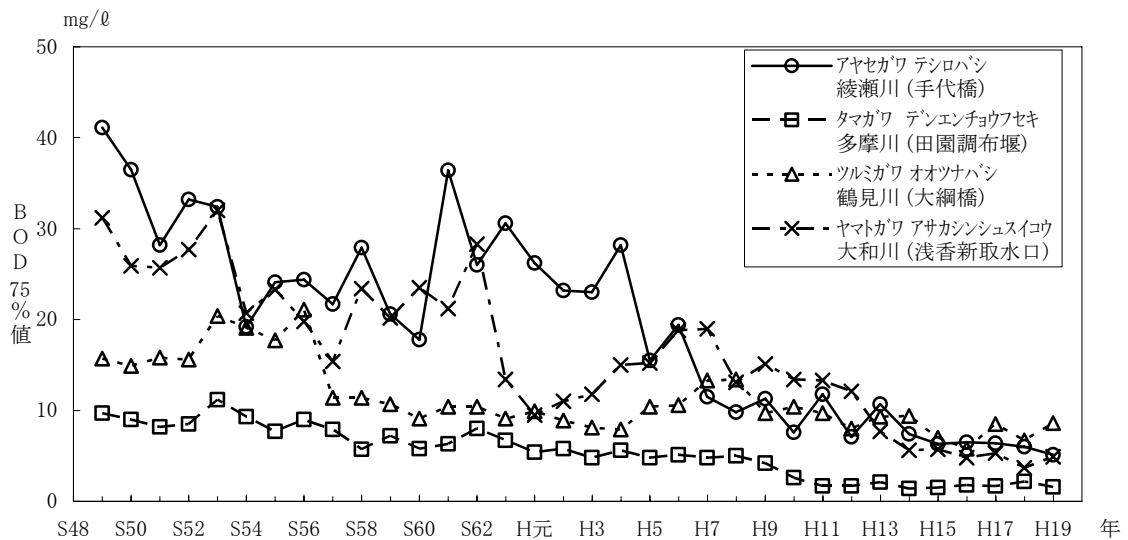


図-9 都市河川の代表地点におけるBOD75%値の経年変化

霞ヶ浦、琵琶湖、中海、宍道湖といった主要湖沼のCOD75%値及び総窒素、総リン平均値の経年変化を図-10(1)～(5)に示す。

主要湖沼におけるCOD、総窒素、総リンの環境基準は表-3に示すとおりであり、図中に参考としてそれぞれの環境基準値を実線で併記している。

主要湖沼は、環境基準を満足している地点の割合が小さい。

表-3 主要湖沼の類型と環境基準

ア. COD (化学的酸素要求量)

水系名	水域名	該当類型	環境基準 (COD)
利根川	霞ヶ浦 (全域)	A	3mg/ℓ
	北浦 (全域 (鰐川を含む))		
	常陸利根川 (全域)		
淀川	琵琶湖(1) (琵琶湖大橋より北側)	AA	1mg/ℓ
	琵琶湖(2) (琵琶湖大橋より南側)		
斐伊川	中海 (中海及境水道)	A	3mg/ℓ
	宍道湖 (大橋川を含む)		

イ. 窒素及びリン

水系名	水域名	該当類型	環境基準
利根川	霞ヶ浦 (全域)	III	総窒素 : 0.4mg/ℓ 総リン : 0.03mg/ℓ
	北浦 (全域 (鰐川を含む))		
	常陸利根川 (全域)		
淀川	琵琶湖(1) (琵琶湖大橋より北側)	II	総窒素 : 0.2mg/ℓ 総リン : 0.01mg/ℓ
	琵琶湖(2) (琵琶湖大橋より南側)		
斐伊川	中海 (中海及境水道)	III	総窒素 : 0.4mg/ℓ 総リン : 0.03mg/ℓ
	宍道湖 (大橋川を含む)		

霞ヶ浦の湖心地点では、CODは近年横這い傾向であったが、平成19年はやや増加している。総窒素は若干変動があるもののほぼ横這いである。総リンは近年ほぼ横這いである。

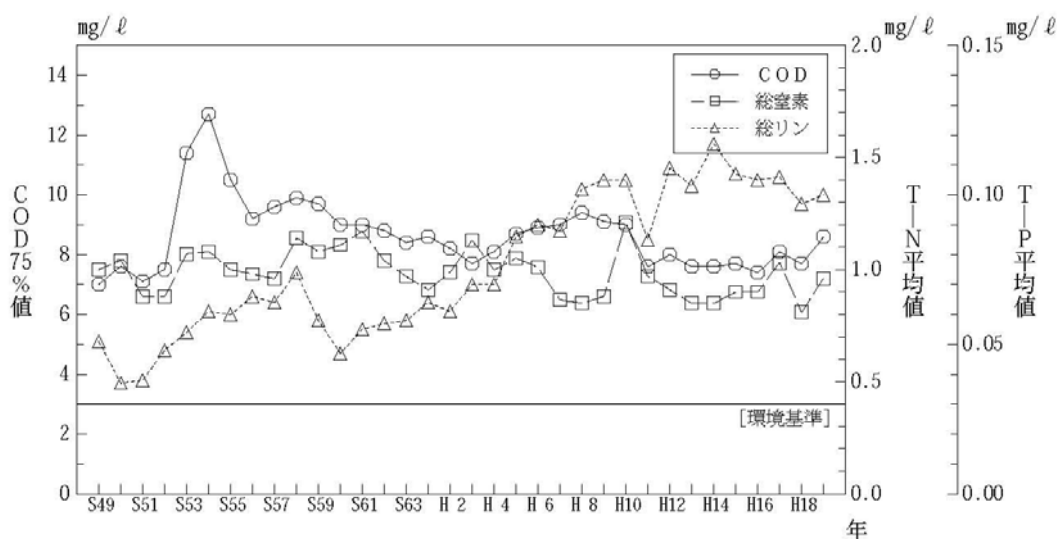


図-10(1) 主要湖沼代表地点における水質の経年変化
霞ヶ浦 湖心 (湖沼A, III)

琵琶湖の北湖安曇川沖中央地点では、CODは長期的には増加傾向を示している。総窒素は若干変動はあるもののほぼ横這いである。総リンは環境基準を近年満足している。

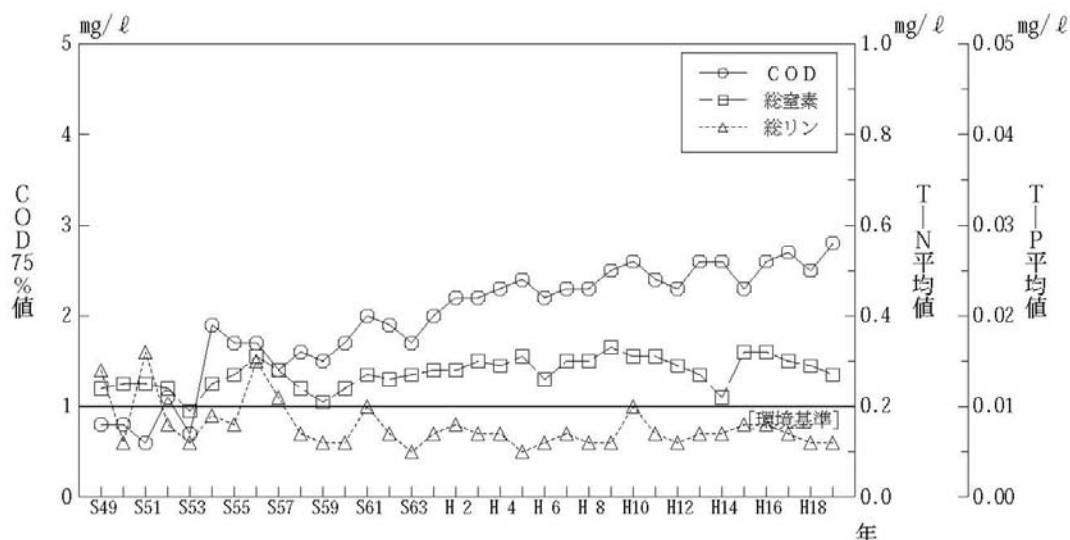


図-10(2) 主要湖沼代表地点における水質の経年変化
琵琶湖（北湖） 安曇川沖中央（湖沼AA, II）

琵琶湖の南湖大宮川沖中央地点では、CODは近年概ね減少傾向を示していたが、平成19年はやや増加している。

総窒素および総リンは近年、減少傾向を示している。

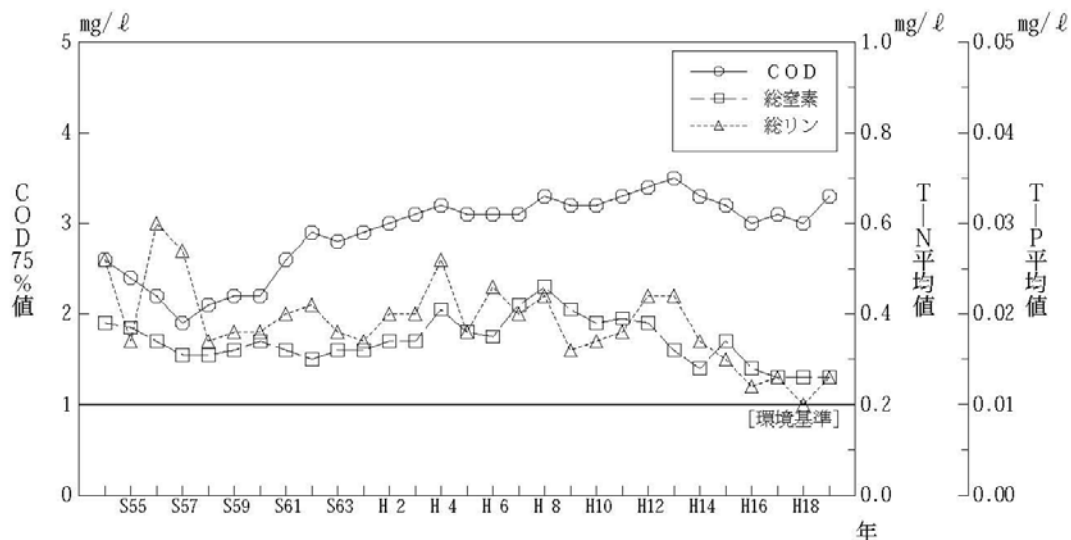


図-10(3) 主要湖沼代表地点における水質の経年変化
琵琶湖（南湖） 大宮川沖中央（湖沼AA, II）

中海の湖心地点では、COD、総窒素及び総リンとも変動はあるものの概ね横這い傾向を示している。

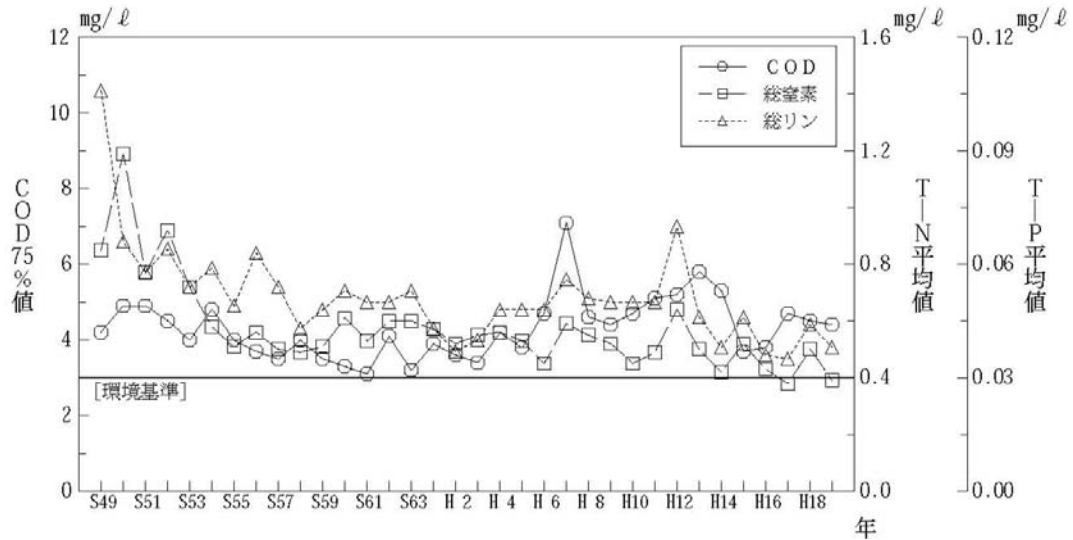


図-10(4) 主要湖沼代表地点における水質の経年変化
中海 湖心 (湖沼A, III)

宍道湖のNo.3湖心地点では、COD、総窒素及び総リンともに近年ほぼ横這い傾向を示している。

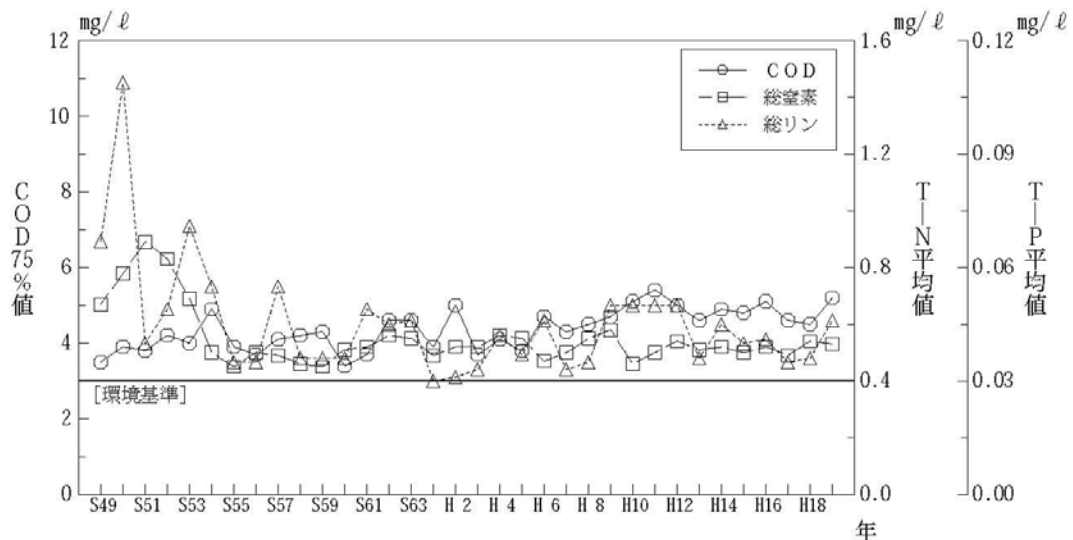


図-10(5) 主要湖沼代表地点における水質の経年変化
宍道湖No.3:湖心 (湖沼A, III)

2. 「人と川のふれあい」からみた水質の現況

糞便性大腸菌群数は、人や動物の排泄物由来の大腸菌群により水の汚染を知る指標であり、国土交通省では、平成14年4月から調査を行っている。平成19年は全国948地点で調査を行った。なお、糞便性大腸菌群数については、現在、水浴場における判定基準^{注15}は設定されているが、その他の公共用水域における基準は定められていない。

図-11に各調査地点（湖沼等（湖沼、海域及びダム貯水池）については表層）における糞便性大腸菌群数のランク別割合を示す。水浴場における判定基準によれば、「適」である100個/100ml以下の割合は41.0%、「可」である101～1,000個/100mlの割合は38.3%、「不適」である1,000個/100mlを超える割合は20.7%であった。

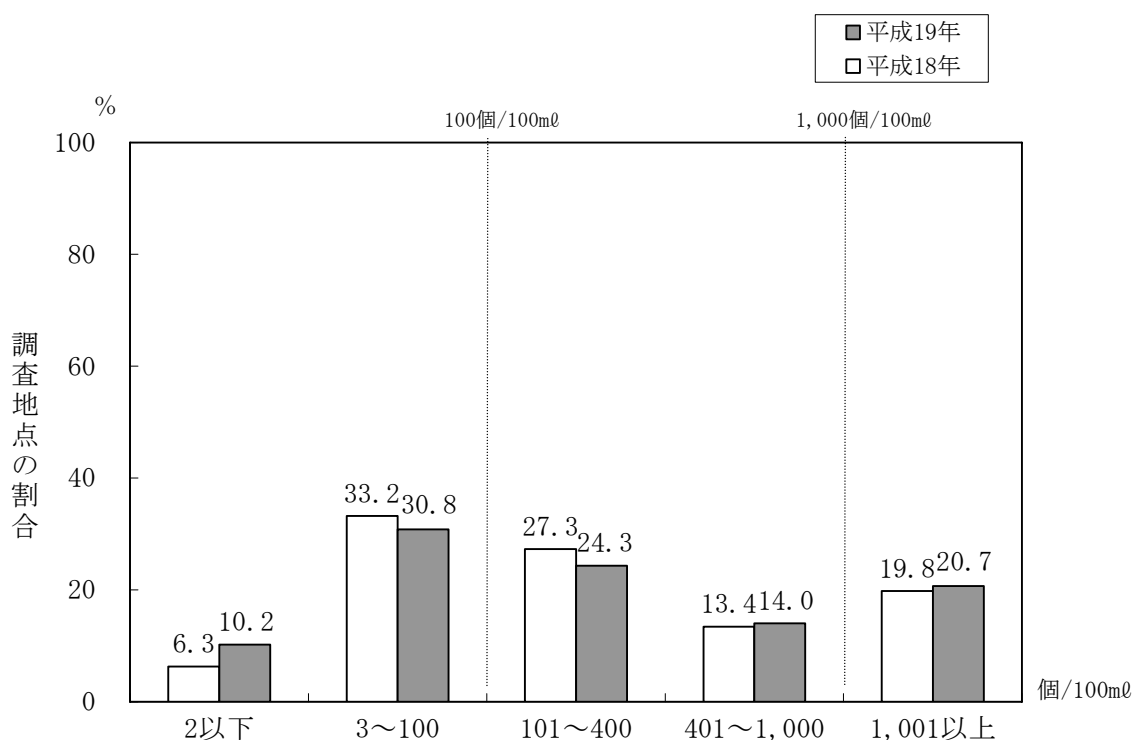


図-11 糞便性大腸菌群数（年平均値）のランク別割合

注) 湖沼等については表層

^{注15} 水浴場判定基準（環境省）によると糞便性大腸菌群数について以下のとおり区分され、水質A A及び水質Aであるものを「適」、水質B及び水質Cであるものを「可」とする。

水質A A：不検出（検出限界2個/100ml）

水質A：100個/100ml以下

水質B：400個/100ml以下

水質C：1,000個/100ml以下

不適：1,000個/100mlを超える

河川及び湖沼等における糞便性大腸菌群数のランク別割合をそれぞれ図-12(1)、(2)に示す。人為起源の汚染の影響を受けやすい河川では、1,001個/100mℓ以上の割合が25.0%を占めている。一方、湖沼等ではほとんどが100個/100mℓ以下となっている。

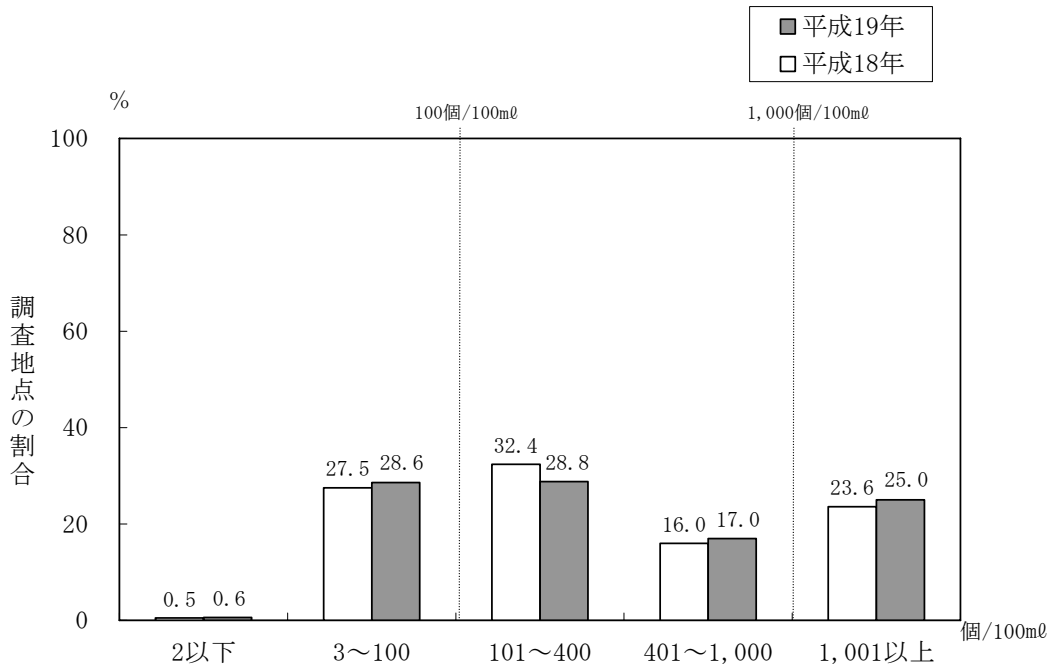


図-12(1) 糞便性大腸菌群数のランク別割合 (河川)

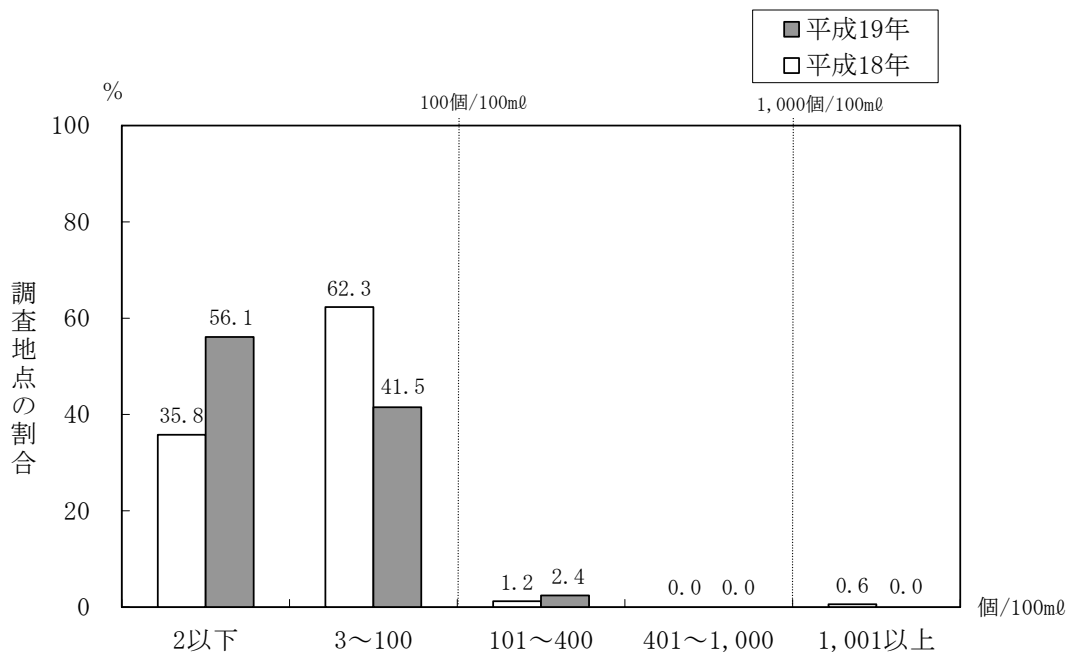


図-12(2) 糞便性大腸菌群数のランク別割合 (湖沼等の表層)

3. 一級河川の平均水質（河川ランキング） (1/3)

地方	水系名	読み方	河川名	読み方	調査地点の 都道府県名	順位		BOD平均値 (mg/ℓ)		BOD75%値 (mg/ℓ)		満足度 (%)
						平成19年	平成18年	平成19年	平成18年	平成19年	平成18年	
北海道	天塩川	てしおがわ	天塩川	てしおがわ	北海道	31	31	0.7	0.7	0.8	0.7	100
	留萌川	るもいがわ	留萌川	るもいがわ	北海道	75	50	1.0	0.8	0.9	0.8	100
	石狩川	いしかりがわ	石狩川	いしかりがわ	北海道	115	120	1.2	1.2	1.3	1.3	100
	石狩川	いしかりがわ	雨竜川	うりゅうがわ	北海道	31	24	0.7	0.6	0.8	0.7	100
	石狩川	いしかりがわ	空知川	そらちがわ	北海道	20	24	0.7	0.6	0.7	0.7	100
	石狩川	いしかりがわ	幾春別川	いくしゅんべつがわ	北海道	31	24	0.7	0.6	0.8	0.7	100
	石狩川	いしかりがわ	夕張川	ゆうばりがわ	北海道	108	101	1.1	1.0	1.3	1.2	100
	石狩川	いしかりがわ	豊平川	とよひらがわ	北海道	80	69	1.0	0.9	1.1	0.9	100
	尻別川	しりべつがわ	尻別川	しりべつがわ	北海道	1	1	0.5	0.5	0.5	0.5	100
	後志利別川	しりべしとしべつがわ	後志利別川	しりべしとしべつがわ	北海道	8	1	0.6	0.5	0.5	0.5	100
	鶴川	むかわ	鶴川	むかわ	北海道	8	1	0.6	0.5	0.5	0.5	100
	沙流川	さるがわ	沙流川	さるがわ	北海道	1	1	0.5	0.5	0.5	0.5	100
	十勝川	とかがわ	十勝川	とかがわ	北海道	100	94	1.1	1.0	1.2	1.1	100
	十勝川	とかがわ	札内川	さつないがわ	北海道	10	10	0.6	0.6	0.6	0.5	100
	十勝川	とかがわ	下頃辺川	したころべがわ	北海道	161	157	2.4	2.0	2.8	2.3	50
	釧路川	くしろがわ	釧路川	くしろがわ	北海道	31	53	0.7	0.8	0.8	0.9	100
	網走川	あばしりがわ	網走川	あばしりがわ	北海道	120	129	1.2	1.3	1.5	1.5	100
	常呂川	ところがわ	常呂川	ところがわ	北海道	139	143	1.6	1.5	1.8	1.7	100
	湧別川	ゆうべつがわ	湧別川	ゆうべつがわ	北海道	46	39	0.8	0.7	0.8	0.8	100
	渚滑川	しよこつがわ	渚滑川	しよこつがわ	北海道	46	69	0.8	0.9	0.8	0.9	100
東北	阿武隈川	あぶくまかわ	阿武隈川	あぶくまかわ	宮城, 福島	141	143	1.6	1.5	2.0	1.7	100
	阿武隈川	あぶくまかわ	荒川	あらかわ	福島	1	12	0.5	0.6	0.5	0.6	100
	名取川	なとりがわ	名取川	なとりがわ	宮城	63	72	0.9	0.9	1.0	1.0	100
	名取川	なとりがわ	笹川	さるかかわ	宮城	80	108	1.0	1.1	1.1	1.1	100
	鳴瀬川	なるせがわ	鳴瀬川	なるせがわ	宮城	80	84	1.0	0.9	1.1	1.1	100
	鳴瀬川	なるせがわ	吉田川	よしだがわ	宮城	137	141	1.5	1.5	1.6	1.5	100
	北上川	きたかみがわ	北上川	きたかみがわ	岩手, 宮城	80	94	1.0	1.0	1.1	1.1	100
	北上川	きたかみがわ	和賀川	わががわ	岩手	41	53	0.7	0.8	0.9	0.9	100
	北上川	きたかみがわ	猿ヶ石川	さるがいしがわ	岩手	100	94	1.1	1.0	1.2	1.1	100
	北上川	きたかみがわ	胆沢川	いさわがわ	岩手	20	47	0.7	0.7	0.7	0.9	100
	北上川	きたかみがわ	磐井川	いわいがわ	岩手	89	94	1.0	1.0	1.2	1.1	100
	北上川	きたかみがわ	江合川	えあいがわ	宮城	122	53	1.3	0.8	1.0	0.9	100
	北上川	きたかみがわ	旧北上川	きゅうきたかみがわ	宮城	63	53	0.9	0.8	1.0	0.9	100
	馬淵川	まべちがわ	馬淵川	まべちがわ	青森	31	72	0.7	0.9	0.8	1.0	100
	岩木川	いわきがわ	岩木川	いわきがわ	青森	135	110	1.5	1.1	1.5	1.2	100
	岩木川	いわきがわ	平川	ひらかわ	青森	75	53	1.0	0.8	0.9	0.9	100
	米代川	よねしろがわ	米代川	よねしろがわ	秋田	77	101	1.0	1.0	1.0	1.2	100
	雄物川	おものがわ	雄物川	おものがわ	秋田	80	113	1.0	1.1	1.1	1.3	100
	雄物川	おものがわ	玉川	たまがわ	秋田	20	31	0.7	0.7	0.7	0.7	100
	子吉川	こよしがわ	子吉川	こよしがわ	秋田	63	84	0.9	0.9	1.0	1.1	100
最上川	もがみがわ	最上川	もがみがわ	山形	118	129	1.2	1.3	1.4	1.5	100	
最上川	もがみがわ	須川	すかわ	山形	145	157	1.7	2.0	2.0	2.3	100	
最上川	もがみがわ	鮭川	さけがわ	山形	31	12	0.7	0.6	0.8	0.6	100	
赤川	あかがわ	赤川	あかがわ	山形	20	53	0.7	0.8	0.7	0.9	100	
関東	久慈川	くじがわ	久慈川	くじがわ	茨城	89	72	1.0	0.9	1.2	1.0	100
	那珂川	なかがわ	那珂川	なかがわ	茨城, 栃木	80	107	1.0	1.0	1.1	1.3	100
	利根川	とねがわ	利根川	とねがわ	茨城, 群馬, 千葉, 埼玉	138	143	1.5	1.5	1.8	1.7	53
	利根川	とねがわ	烏川	からすがわ	群馬	151	159	1.8	2.2	2.1	2.7	100
	利根川	とねがわ	神流川	かんながわ	埼玉	46	53	0.8	0.8	0.8	0.9	100
	利根川	とねがわ	渡良瀬川	わたらせがわ	群馬, 茨城, 栃木	130	140	1.4	1.4	1.6	1.8	100
	利根川	とねがわ	鬼怒川	きぬがわ	栃木, 茨城	89	84	1.0	0.9	1.2	1.1	100
	利根川	とねがわ	小貝川	こかいがわ	茨城, 栃木	145	146	1.7	1.5	2.0	1.8	71
	利根川	とねがわ	江戸川	えどがわ	埼玉, 東京, 千葉	151	142	1.8	1.5	2.1	1.6	86
	利根川	とねがわ	中川	なかがわ	埼玉, 東京	164(3)	163(4)	3.8	4.2	3.9	4.8	100
	利根川	とねがわ	綾瀬川	あやせがわ	埼玉, 東京	165(2)	165(2)	4.2	4.6	4.6	5.5	67
	荒川	あらかわ	荒川	あらかわ	埼玉, 東京	159	161	2.3	2.3	2.8	2.8	85
	荒川	あらかわ	入間川	いるまがわ	埼玉	112	132	1.2	1.3	1.2	1.6	100
	多摩川	たまがわ	多摩川	たまがわ	東京, 神奈川	128	154	1.4	1.9	1.4	2.1	100
	多摩川	たまがわ	浅川	あさかわ	東京	80	149	1.0	1.6	1.1	1.5	100
	鶴見川	つるみがわ	鶴見川	つるみがわ	神奈川	163(4)	164(3)	3.6	4.3	5.5	4.8	75
	富士川	ふじかわ	富士川	ふじかわ	山梨, 静岡	71	113	0.9	1.1	1.1	1.3	100
富士川	ふじかわ	笛吹川	ふえふしがわ	山梨	120	152	1.2	1.7	1.5	1.7	100	

注1)順位はBOD平均値の小さい順である。BOD平均値が同じ場合、75%値により評価している。

注2)順位が下位の5河川については、順位欄に () 書きでワースト順位を示している。

注3)対象とする河川は、以下に示すとおりである。原則として調査地点にダム貯水池を含まない。

- ・本川の直轄管理区間で、調査地点が2地点以上ある河川
- ・直轄管理区間延長が概ね10km以上の支川で、調査地点が2地点以上ある河川

注4)満足度とは環境基準を満足している地点の割合（河川別）を示している。類型未指定地点は対象外とする。

- ・天神川水系小鴨川と日野川水系法勝寺川は類型が未指定地点のみからなる河川である。

3. 一級河川の平均水質（河川ランキング） (2/3)

地方	水系名	読み方	河川名	読み方	調査地点の都道府県名	順位		BOD平均値 (mg/ℓ)		BOD75%値 (mg/ℓ)		満足度 (%)
						平成19年	平成18年	平成19年	平成18年	平成19年	平成18年	平成19年
北陸	阿賀野川	あがのがわ	阿賀野川	あがのがわ	福島, 新潟	16	12	0.6	0.6	0.7	0.6	100
	信濃川	しなのがわ	信濃川	しなのがわ	新潟, 長野	100	113	1.1	1.1	1.2	1.3	100
	信濃川	しなのがわ	犀川	さいがわ	長野	60	123	0.9	1.2	0.9	1.4	100
	信濃川	しなのがわ	魚野川	うおのがわ	新潟	20	64	0.7	0.8	0.7	1.0	100
	関川	せきかわ	関川	せきかわ	新潟	112	84	1.2	0.9	1.2	1.1	100
	姫川	ひめかわ	姫川	ひめかわ	新潟	10	12	0.6	0.6	0.6	0.6	100
	黒部川	くろべがわ	黒部川	くろべがわ	富山	1	1	0.5	0.5	0.5	0.5	100
	常願寺川	じょうがんじがわ	常願寺川	じょうがんじがわ	富山	20	24	0.7	0.6	0.7	0.7	100
	神通川	じんづうがわ	神通川	じんづうがわ	富山	100	72	1.1	0.9	1.2	1.0	100
	神通川	じんづうがわ	井田川	いだがわ	富山	129	113	1.4	1.1	1.5	1.3	100
中部	庄川	しょうがわ	庄川	しょうがわ	富山	20	31	0.7	0.7	0.7	0.7	100
	小矢部川	おやべがわ	小矢部川	おやべがわ	富山	135	135	1.5	1.4	1.5	1.5	100
	手取川	てどりがわ	手取川	てどりがわ	石川	44	31	0.8	0.7	0.7	0.7	100
	荒川	あらかわ	荒川	あらかわ	新潟	10	12	0.6	0.6	0.6	0.6	100
	梯川	かけはしがわ	梯川	かけはしがわ	石川	31	49	0.7	0.8	0.8	0.7	100
	狩野川	かのがわ	狩野川	かのがわ	静岡	31	39	0.7	0.7	0.8	0.8	100
	安倍川	あべかわ	安倍川	あべかわ	静岡	10	1	0.6	0.5	0.6	0.5	100
	大井川	おおいがわ	大井川	おおいがわ	静岡	71	146	0.9	1.5	1.1	1.8	100
	菊川	きくがわ	菊川	きくがわ	静岡	115	119	1.2	1.2	1.3	1.2	100
	菊川	きくがわ	牛瀬川	うしづちがわ	静岡	158	153	2.3	1.8	2.6	1.9	100
近畿	天竜川	てんりゅうがわ	天竜川	てんりゅうがわ	長野, 静岡	115	135	1.2	1.4	1.3	1.5	100
	天竜川	てんりゅうがわ	三峰川	みぶがわ	長野	51	101	0.8	1.0	0.9	1.2	100
	豊川	とよがわ	豊川	とよがわ	愛知	58	10	0.8	0.6	1.0	0.5	100
	矢作川	やはぎがわ	矢作川	やはぎがわ	愛知	71	53	0.9	0.8	1.1	0.9	100
	庄内川	しょうないがわ	庄内川	しょうないがわ	岐阜, 愛知	160	156	2.4	1.9	2.7	2.3	100
	木曽川	きそがわ	木曽川	きそがわ	岐阜, 愛知, 三重, 長野	51	12	0.8	0.6	0.9	0.6	100
	木曽川	きそがわ	揖斐川	いびがわ	岐阜, 三重	89	39	1.0	0.7	1.2	0.8	80
	木曽川	きそがわ	牧田川	まきたがわ	岐阜	124	135	1.3	1.4	1.5	1.5	100
	木曽川	きそがわ	杭瀬川	くいせがわ	岐阜	145	94	1.7	1.0	2.0	1.1	50
	木曽川	きそがわ	長良川	ながらがわ	岐阜, 三重	89	53	1.0	0.8	1.2	0.9	83
近畿	木曽川	きそがわ	伊自良川	いじらがわ	岐阜	134	125	1.4	1.2	1.7	1.5	100
	鈴鹿川	すずかがわ	鈴鹿川	すずかがわ	三重	31	31	0.7	0.7	0.8	0.7	100
	雲出川	くもずがわ	雲出川	くもずがわ	三重	51	72	0.8	0.9	0.9	1.0	100
	櫛田川	くしだがわ	櫛田川	くしだがわ	三重	44	39	0.8	0.7	0.7	0.8	100
	宮川	みやがわ	宮川	みやがわ	三重	1	1	0.5	0.5	0.5	0.5	100
	新宮川	しんぐうがわ	熊野川	くまのがわ	和歌山	108	92	1.1	0.9	1.3	1.6	100
	紀の川	きのかわ	紀の川	きのかわ	奈良, 和歌山	108	113	1.1	1.1	1.3	1.3	100
	大和川	やまとがわ	大和川	やまとがわ	大阪, 奈良	166(1)	166(1)	4.7	4.7	5.5	5.5	50
	淀川	よどがわ	野洲川	やすがわ	滋賀	58	53	0.8	0.8	1.0	0.9	100
	淀川	よどがわ	淀川	よどがわ	滋賀, 京都, 大阪	130	129	1.4	1.3	1.6	1.5	90
近畿	淀川	よどがわ	木津川	きづがわ	三重, 京都	118	123	1.2	1.2	1.4	1.4	100
	淀川	よどがわ	名張川	なばりがわ	三重, 京都	100	120	1.1	1.2	1.2	1.3	100
	淀川	よどがわ	宇陀川	うだがわ	三重, 奈良	89	84	1.0	0.9	1.2	1.1	100
	淀川	よどがわ	桂川	かつらがわ	京都	123	101	1.3	1.0	1.1	1.2	100
	淀川	よどがわ	猪名川	いながわ	大阪, 兵庫	162(5)	162(5)	3.3	3.4	3.9	4.2	67
	加古川	かこがわ	加古川	かこがわ	兵庫	144	135	1.7	1.4	1.7	1.5	100
	揖保川	いぼがわ	揖保川	いぼがわ	兵庫	46	64	0.8	0.8	0.8	1.0	100
	九頭竜川	くずりゅうがわ	九頭竜川	くずりゅうがわ	福井	77	72	1.0	0.9	1.0	1.0	100
	九頭竜川	くずりゅうがわ	日野川	ひのがわ	福井	124	148	1.3	1.5	1.5	2.2	100
	北川	きたがわ	北川	きたがわ	福井	10	12	0.6	0.6	0.6	0.6	100
近畿	由良川	ゆらがわ	由良川	ゆらがわ	京都	20	24	0.7	0.6	0.7	0.7	100
	円山川	まるやまがわ	円山川	まるやまがわ	兵庫	143	91	1.7	0.9	1.5	1.2	75

注1)順位はBOD平均値の小さい順である。BOD平均値が同じ場合、75%値により評価している。

注2)順位が下位の5河川については、順位欄に () 書きでワースト順位を示している。

注3)対象とする河川は、以下に示すとおりである。原則として調査地点にダム貯水池を含まない。

- ・本川の直轄管理区間で、調査地点が2地点以上ある河川
- ・直轄管理区間延長が概ね10km以上の支川で、調査地点が2地点以上ある河川

注4)満足度とは環境基準を満足している地点の割合（河川別）を示している。類型未指定地点は対象外とする。

- ・天神川水系小鴨川と日野川水系法勝寺川は類型が未指定地点のみからなる河川である。

3. 一級河川の平均水質（河川ランキング） (3/3)

地方	水系名	読み方	河川名	読み方	調査地点の都道府県名	順位		BOD平均値 (mg/ℓ)		BOD75%値 (mg/ℓ)		満足度 (%)
						平成19年	平成18年	平成19年	平成18年	平成19年	平成18年	平成19年
中	千代川	せんだいがわ	千代川	せんだいがわ	鳥取	60	72	0.9	0.9	0.9	1.0	100
	天神川	てんじんがわ	天神川	てんじんがわ	鳥取	41	24	0.7	0.6	0.9	0.7	100
	天神川	てんじんがわ	小鴨川	おがもがわ	鳥取	98	12	1.1	0.6	1.0	0.6	-
	日野川	ひのがわ	日野川	ひのがわ	鳥取	51	84	0.8	0.9	0.9	1.1	100
	日野川	ひのがわ	法勝寺川	ほっしょうじがわ	鳥取	99	135	1.1	1.4	1.1	1.5	-
	斐伊川	ひいかわ	斐伊川	ひいかわ	島根	20	50	0.7	0.8	0.7	0.8	100
	江の川	ごうのかわ	江の川	ごうのかわ	島根, 広島	20	31	0.7	0.7	0.7	0.7	100
	高津川	たかつがわ	高津川	たかつがわ	島根	1	1	0.5	0.5	0.5	0.5	100
	佐波川	さばがわ	佐波川	さばがわ	山口	63	31	0.9	0.7	1.0	0.7	100
	小瀬川	おぜがわ	小瀬川	おぜがわ	広島, 山口	100	110	1.1	1.1	1.2	1.2	100
	太田川	おおたがわ	太田川	おおたがわ	広島	71	39	0.9	0.7	1.1	0.8	100
	芦田川	あしだがわ	芦田川	あしだがわ	広島	157	160	2.1	2.3	2.5	2.7	71
	高梁川	たかはしがわ	高梁川	たかはしがわ	岡山	89	69	1.0	0.9	1.2	0.9	100
	旭川	あさひがわ	旭川	あさひがわ	岡山	63	39	0.9	0.7	1.0	0.8	100
	吉井川	よしいがわ	吉井川	よしいがわ	岡山	155	110	1.9	1.1	2.4	1.2	80
四	重信川	しげのぶがわ	重信川	しげのぶがわ	愛媛	108	101	1.1	1.0	1.3	1.2	80
	肱川	ひじかわ	肱川	ひじかわ	愛媛	51	64	0.8	0.8	0.9	1.0	100
	肱川	ひじかわ	矢落川	やおちがわ	愛媛	145	133	1.7	1.3	2.0	1.7	50
	渡川	わたりがわ	四万十川	しまんとがわ	高知	77	64	1.0	0.8	1.0	1.0	50
	仁淀川	にどがわ	仁淀川	にどがわ	高知	16	12	0.6	0.6	0.7	0.6	100
	物部川	ものべがわ	物部川	ものべがわ	高知	46	12	0.8	0.6	0.8	0.6	100
	那賀川	なかがわ	桑野川	くわのがわ	徳島	149	101	1.7	1.0	2.1	1.2	100
	吉野川	よしのがわ	吉野川	よしのがわ	徳島	31	47	0.7	0.7	0.8	0.9	100
	吉野川	よしのがわ	旧吉野川	きゅうよしのがわ	徳島	63	39	0.9	0.7	1.0	0.8	100
	吉野川	よしのがわ	今切川	いまぎれがわ	徳島	130	93	1.4	1.0	1.6	1.0	100
	土器川	どきがわ	土器川	どきがわ	香川	151	133	1.8	1.3	2.1	1.7	67
	遠賀川	おんががわ	遠賀川	おんががわ	福岡	156	127	2.0	1.3	2.3	1.4	100
	遠賀川	おんががわ	彦山川	ひこさんがわ	福岡	150	126	1.8	1.3	1.9	1.3	100
	遠賀川	おんががわ	大鳴川	いぬなきがわ	福岡	89	94	1.0	1.0	1.2	1.1	100
	松浦川	まつうらがわ	松浦川	まつうらがわ	佐賀	112	84	1.2	0.9	1.2	1.1	75
松浦川	まつうらがわ	厳木川	きむらぎがわ	佐賀	10	-	0.6	-	0.6	-	100	
本明川	ほんみょうがわ	本明川	ほんみょうがわ	長崎	100	108	1.1	1.1	1.2	1.1	100	
六角川	ろっかくがわ	六角川	ろっかくがわ	佐賀	141	149	1.6	1.6	2.0	1.5	100	
六角川	ろっかくがわ	牛津川	うしづがわ	佐賀	140	118	1.6	1.1	1.9	1.4	100	
筑後川	ちくごがわ	筑後川	ちくごがわ	福岡, 熊本, 大分	51	72	0.8	0.9	0.9	1.0	100	
矢部川	やべがわ	矢部川	やべがわ	福岡	100	94	1.1	1.0	1.2	1.1	100	
菊池川	きくちがわ	菊池川	きくちがわ	熊本	97	50	1.1	0.8	0.9	0.8	100	
白川	しらかわ	白川	しらかわ	熊本	63	72	0.9	0.9	1.0	1.0	100	
緑川	みどりかわ	緑川	みどりかわ	熊本	80	72	1.0	0.9	1.1	1.0	100	
球磨川	くまがわ	球磨川	くまがわ	熊本	51	39	0.8	0.7	0.9	0.8	100	
球磨川	くまがわ	川辺川	かわべがわ	熊本	1	1	0.5	0.5	0.5	0.5	100	
川内川	せんだいがわ	川内川	せんだいがわ	鹿児島, 宮崎	60	31	0.9	0.7	0.9	0.7	100	
肝属川	きもつきがわ	肝属川	きもつきがわ	鹿児島	154	155	1.9	1.9	2.2	2.2	100	
大淀川	おおよどがわ	大淀川	おおよどがわ	宮崎	130	127	1.4	1.3	1.6	1.4	100	
大淀川	おおよどがわ	本庄川	ほんじょうがわ	宮崎	20	24	0.7	0.6	0.7	0.7	100	
小丸川	おまるがわ	小丸川	おまるがわ	宮崎	16	12	0.6	0.6	0.7	0.6	100	
五ヶ瀬川	ごかせがわ	五ヶ瀬川	ごかせがわ	宮崎	16	12	0.6	0.6	0.7	0.6	100	
番匠川	ばんじょうがわ	番匠川	ばんじょうがわ	大分	41	53	0.7	0.8	0.9	0.9	100	
大野川	おおのがわ	大野川	おおのがわ	大分	124	64	1.3	0.8	1.5	1.0	67	
大分川	おおいたがわ	大分川	おおいたがわ	大分	80	72	1.0	0.9	1.1	1.0	100	
山国川	やまくにがわ	山国川	やまくにがわ	福岡, 大分	63	72	0.9	0.9	1.0	1.0	100	
嘉瀬川	かせがわ	嘉瀬川	かせがわ	佐賀	127	120	1.3	1.2	1.7	1.3	75	

注1)順位はBOD平均値の小さい順である。BOD平均値が同じ場合、75%値により評価している。

注2)順位が下位の5河川については、順位欄に () 書きでワースト順位を示している。

注3)対象とする河川は、以下に示すとおりである。原則として調査地点にダム貯水池を含まない。

- ・本川の直轄管理区間で、調査地点が2地点以上ある河川
- ・直轄管理区間延長が概ね10km以上の支川で、調査地点が2地点以上ある河川

注4)満足度とは環境基準を満足している地点の割合（河川別）を示している。類型未指定地点は対象外とする。

- ・天神川水系小鴨川と日野川水系法勝寺川は類型が未指定地点のみからなる河川である。

4 (1) 一級河川の水質調査地点の水質 (BOD調査地点) (1/8)

地方	水系名	河川名	地点名	BOD(mg/ℓ)					
				類型	平成19年 平均値	75%値	図7	図13	
北	天塩川	天塩川	岩屋内ダム	AA	0.5	0.5		1	
	天塩川	天塩川	朝日橋	AA	0.5	<0.5		2	
	天塩川	天塩川	中士別橋	A	0.6	0.8		3	
	天塩川	天塩川	名寄大橋	B	1.1	1.3		4	
	天塩川	名寄川	真敷別頭首工	A	0.6	0.6		9	
	天塩川	天塩川	美深橋	B	0.8	1.1		5	
	天塩川	天塩川	中川	B	0.7	0.8	○	6	
	天塩川	問寒別川	下問寒別	未	0.6	0.5		10	
	天塩川	天塩川	円山	B	0.6	0.5		7	
	天塩川	天塩川	天塩大橋	B	0.6	0.5		8	
	留萌川	留萌川	橋橋	AA	0.6	0.6		11	
	留萌川	留萌川	16線橋	A	0.9	0.7		12	
	留萌川	留萌川	大和田	B	0.7	0.6		13	
	留萌川	留萌川	留萌橋	B	1.8	1.8	○	14	
	石狩川	石狩川	大雪ダム	AA	0.6	0.7		46	
	石狩川	石狩川	永山橋	A	0.7	0.7		47	
	石狩川	牛朱別川	功橋	A	1.0	1.2		49	
	石狩川	牛朱別川	緑橋	B	2.6	2.9		50	
	石狩川	忠別川	東神楽橋	A	0.8	0.8		51	
	石狩川	忠別川	忠別ダム	A	0.5	<0.5		52	
	石狩川	美瑛川	美瑛緑橋	未	0.6	0.6		53	
	石狩川	オサラッペ川	治水橋	A	0.9	1.1		54	
	石狩川	石狩川	伊納大橋	B	2.2	2.2		48	
	石狩川	石狩川	納内橋	B	1.7	2.2	○	15	
	石狩川	雨竜川	竜水橋	A	0.6	0.7		21	
	石狩川	雨竜川	菟橋	B	0.7	0.9		22	
	石狩川	空知川	金山ダム	AA	0.8	0.9		23	
	石狩川	空知川	下金山橋	AA	0.6	<0.5		24	
	石狩川	空知川	泰山橋	A	0.7	0.8		27	
	石狩川	空知川	赤平橋	B	0.7	0.6		28	
	石狩川	空知川	空知大橋	B	0.7	0.8		29	
	石狩川	空知川	滝里ダム	A	1.0	1.1		25	
	石狩川	空知川	富良野大橋	A	0.7	0.8		26	
	石狩川	石狩川	砂川大橋	B	1.2	1.3		16	
	石狩川	石狩川	奈井江大橋	B	1.0	1.0		17	
	石狩川	石狩川	たつぷ大橋	B	0.9	0.9		18	
	石狩川	幾春別川	桂沢ダム	A	0.7	0.9		30	
	石狩川	幾春別川	清松橋	A	0.5	0.5		31	
	石狩川	幾春別川	新川橋	B	0.9	1.1		32	
	石狩川	夕張川	馬追橋	A	0.8	0.9		33	
	石狩川	幌向川	西5号橋	未	2.9	3.0		35	
	石狩川	夕張川	江別大橋	B	1.4	1.7		34	
	石狩川	千歳川	新江別橋	A	1.5	1.6		36	
	石狩川	漁川	漁川ダム	未	0.6	0.6		37	
	石狩川	石狩川	石狩大橋	B	1.1	1.0	○	19	
	石狩川	豊平川	豊平峡ダム	A	<0.5	<0.5		38	
	石狩川	小樽内川	定山溪ダム	未	0.5	<0.5		41	
	石狩川	豊平川	豊水大橋	B	0.5	<0.5		39	
	石狩川	豊平川	中沼	B	1.5	1.7		40	
	石狩川	当別川	19線橋	A	0.7	0.8		42	
	石狩川	茨戸川	生振大橋	B	3.3	4.1		43	
	石狩川	茨戸川	樽川合流前	B	3.8	4.2		44	
	石狩川	茨戸川	生振3線北側地先	B	2.8	3.0		45	
	石狩川	石狩川	石狩河口橋	B	0.9	1.0		20	
	尻別川	尻別川	名駒	B	0.5	0.5	○	55	
	尻別川	尻別川	初田橋	B	0.5	<0.5		56	
	後志利別川	後志利別川	美利河ダム	AA	0.5	0.5		57	
	後志利別川	後志利別川	住吉	AA	0.5	0.5		58	
	後志利別川	後志利別川	今金橋	A	0.6	0.5	○	59	
	後志利別川	後志利別川	兜野橋	B	0.6	0.6		60	
	鶴川	鶴川	穂別橋	A	0.5	<0.5		61	
	鶴川	鶴川	鶴川橋	A	0.6	0.5	○	62	
	沙流川	沙流川	二風谷ダム	B	0.6	<0.5		64	
沙流川	沙流川	長知内橋	A	0.5	<0.5		63		
海	沙流川	沙流川	平取	B	0.6	<0.5		65	
	沙流川	沙流川	沙流川橋	B	0.5	<0.5	○	66	
	十勝川	十勝川	土勝ダム	AA	0.6	0.6		67	
	十勝川	十勝川	共栄橋	AA	0.6	0.7		68	
	十勝川	十勝川	佐幌川合流点前	A	0.6	0.6		69	
	十勝川	十勝川	祥栄橋	B	1.0	1.0		70	
	十勝川	十勝川	十勝大橋	B	1.8	2.1		71	
	十勝川	音更川	音更橋	A	1.1	0.9		74	
	十勝川	札内川	札内川ダム	AA	<0.5	<0.5		75	
	十勝川	札内川	南帯橋	AA	0.5	0.6		76	
	十勝川	札内川	札内橋	A	0.6	0.6		77	
	十勝川	途別川	千住橋	A	0.8	0.9		78	
	十勝川	十勝川	千代田堰堤	B	1.4	1.5		72	
	十勝川	猿別川	止若橋	A	0.7	0.8		79	
	十勝川	利別川	池田大橋	A	1.0	1.3		80	
	十勝川	十勝川	茂岩橋	B	1.2	1.3	○	73	
	十勝川	下頃辺川	愛牛橋	B	3.7	4.4		81	
	十勝川	下頃辺川	吉野	B	1.0	1.2		82	
	釧路川	釧路川	瀬文平橋	AA	0.7	0.7	○	83	
	釧路川	釧路川	開運橋	A	0.6	0.6		84	
	釧路川	新釧路川	愛国浄水場取水口	A	0.9	1.0		85	
	釧路川	新釧路川	新川橋	B	0.9	1.1		86	
	釧路川	釧路川	摩周大橋	AA	0.6	0.6		87	
	釧路川	シラウトロ川	シラウトロ沼	未	2.5	2.9		90	
	釧路川	達古武湖	達古武湖	未	3.1	3.5		88	
	釧路川	アレキナイ川	塘路湖	未	2.4	2.8		89	
	網走川	網走川	大正橋	A	0.9	1.1		91	
	網走川	美幌川	美幌橋	B	0.8	0.9		94	
	網走川	網走川	治水橋	B	1.1	1.4	○	92	
	網走川	網走川	網走橋	B	1.7	1.9		93	
	常呂川	常呂川	鹿ノ子ダム	A	1.0	1.3		95	
	常呂川	常呂川	金比羅橋	A	1.1	1.2		96	
	常呂川	常呂川	若松橋	B	1.3	1.4		97	
	常呂川	常呂川	忠志橋	B	2.1	2.5	○	98	
	常呂川	常呂川	上川沼	B	1.7	1.9		99	
	常呂川	無加川	常盤橋	未	1.1	1.2		100	
	湧別川	湧別川	遠軽橋	A	0.6	0.6		101	
	湧別川	湧別川	中湧別橋	A	1.0	1.0	○	102	
	渚滑川	渚滑川	ウツツ橋	A	0.6	0.7	○	104	
	渚滑川	渚滑川	渚滑橋	B	0.9	0.8		105	
	渚滑川	渚滑川	新記念橋	A	0.8	0.8		103	
	東	阿武隈川	阿武隈川	須賀川	B	1.3	1.7		1
		阿武隈川	釈迦堂川	下宿	B	1.1	1.4		2
		阿武隈川	阿武隈川	御代田	B	1.4	2.0		3
		阿武隈川	笹原川	新橋	未	1.6	1.7		4
		阿武隈川	阿武隈川	阿久津	B	1.5	2.0		5
阿武隈川		阿武隈川	阿武隈橋	B	1.7	2.4		6	
阿武隈川		阿武隈川	高田橋	B	2.1	2.5		7	
阿武隈川		阿武隈川	黒岩	B	1.5	1.7	○	8	
阿武隈川		荒川	荒川橋	A	0.5	<0.5		9	
阿武隈川		荒川	信夫橋	B	<0.5	<0.5		10	
阿武隈川		松川	松川橋	A	0.5	<0.5		11	
阿武隈川		摺上川	瀬ノ上橋	A	0.8	0.9		12	
阿武隈川		阿武隈川	伏黒	B	1.4	1.5		13	
阿武隈川		広瀬川	舟場	B	1.0	1.1		14	
阿武隈川		阿武隈川	羽出庭橋	B	1.8	2.3		15	
阿武隈川		阿武隈川	丸森	B	1.7	2.0		16	
阿武隈川		阿武隈川	江尻	A	1.5	1.9		17	
阿武隈川		白石川	白幡	A	0.8	1.0		18	
阿武隈川		阿武隈川	岩沼	A	1.3	1.6		19	
阿武隈川		阿武隈川	三春ダム	未	1.1	1.3	○	20	
阿武隈川		摺上川	摺上川ダム	未	0.6	0.7		21	
名取川		前川	北向橋	AA	0.7	0.7		22	
名取川		北川	北川橋	AA	0.6	0.7		23	

- 注1) 報告下限値を0.5mg/ℓとして集計している。報告下限値を下回る地点は「<0.5」と表示している。
- 注2) 類型が未指定の地点は類型を「未」と表示している。
- 注3) ダム貯水池の地点名は下線を付けて表示している。本報告では、環境基準の満足状況の判定以外では、湖沼に準じてCODで評価される地点である。
- 注4) 図7に○印を表示している調査地点は、一級河川の水質調査地点のうち主要地点として「図-7 平成19年一級河川水質状況図」に抽出した地点である。
- 注5) 図13に表示している番号は、「図-13 平成19年一級河川の水質状況図」に記載した調査地点の番号である。

4 (1) 一級河川的全調査地点の水質 (BOD調査地点) (2/8)

地方	水系名	河川名	地点名	平成19年				図7	図13	地方	水系名	河川名	地点名	平成19年			
				類型	平均値	75%値								類型	平均値	75%値	
東	名取川	太郎川	いもくぼ橋	AA	0.6	0.7		24	東	岩木川	岩木川	十三湖大橋	B	1.7	2.1		88
	名取川	笹川	唐松橋	C	0.8	0.9		25		岩木川	岩木川	十三湖中央	B	2.1	2.0		89
	名取川	笹川	名取川合流前	C	1.1	1.2		26		岩木川	岩木川	山田川河口	B	3.0	3.0		90
	名取川	名取川	名取橋	B	0.8	1.0		27		岩木川	岩木川	鳥谷川河口	B	2.2	2.1		91
	名取川	広瀬川	三橋	B	0.8	0.9	○	28		米代川	米代川	十二所	B	1.0	1.0		92
	名取川	名取川	関上大橋	B	1.0	0.9		29		米代川	米代川	餅田	B	1.0	1.2		93
	鳴瀬川	鳴瀬川	三本木	A	1.0	1.0		30		米代川	米代川	新真中橋(真中橋)	B	0.9	1.0		94
	鳴瀬川	鳴瀬川	下中ノ目	A	1.0	1.0		31		米代川	米代川	鷹巣	B	1.0	1.0		95
	鳴瀬川	鳴瀬川	南郷	A	1.1	1.1		32		米代川	藤琴川	琴音橋	A	0.9	1.0		96
	鳴瀬川	吉田川	落合	B	1.6	1.6		33		米代川	米代川	二ッ井	B	0.9	1.0	○	97
	鳴瀬川	吉田川	鹿島台	B	1.4	1.5		34		米代川	米代川	能代	B	1.0	1.2		98
	鳴瀬川	善川	善川橋	B	1.7	1.6		35		雄物川	雄物川	酒時橋	A	0.6	0.7		99
	鳴瀬川	鳴瀬川	小野	B	1.0	1.1	○	36		雄物川	成瀬川	真人橋(成瀬川橋)	AA	0.7	0.8		100
	北上川	北上川	船田橋(2)	A	1.0	1.1		37		雄物川	皆瀬川	岩崎橋(八木)	A	0.9	1.0		101
	北上川	北上川	四十四田橋(2)	A	0.9	1.0		38		雄物川	雄物川	雄物川橋	A	0.9	1.1		102
	北上川	中津川	御厩橋	A	0.6	0.7		39		雄物川	横手川	藤木上橋	B	1.4	1.6		103
	北上川	雫石川	東北本線鉄橋	A	0.8	0.9		40		雄物川	雄物川	大曲橋	A	1.1	1.3		104
	北上川	北上川	南大橋	A	0.8	0.8		41		雄物川	玉川	長野	A	0.7	0.7		105
	北上川	北上川	紫波橋	A	0.9	1.1	○	42		雄物川	玉川	玉川橋	A	0.8	0.8		106
	北上川	猿ヶ石川	落合橋	A	1.0	1.1		43		雄物川	雄物川	岳見橋	A	0.9	1.0		107
	北上川	小友川	小友橋	A	0.8	0.7		44		雄物川	雄物川	刈和野橋	A	1.1	1.1		108
	北上川	猿ヶ石川	安野橋	A	1.1	1.2		45		雄物川	雄物川	新波橋	A	1.0	1.1		109
	北上川	北上川	朝日橋	A	0.9	1.1		46		雄物川	雄物川	椿川	A	1.1	1.3	○	110
	北上川	北上川	昭和橋	A	0.9	1.0		47		雄物川	雄物川	新屋	A	1.1	1.2		111
	北上川	北上川	珊瑚橋	A	0.9	1.1		48		雄物川	雄物川	雄物新橋	C	1.0	1.2		112
	北上川	和賀川	山室橋	AA	0.6	0.7		49		雄物川	玉川	玉川ダム	未	0.5	<0.5		113
	北上川	小鬼ヶ瀬川	天子森	未	0.9	1.1		50		子吉川	子吉川	滝沢橋	A	0.9	1.0		114
	北上川	和賀川	九年橋	A	0.7	0.8		51		子吉川	子吉川	宮内	A	0.9	0.9		115
	北上川	北上川	金ヶ崎橋	A	1.1	1.3		52		子吉川	子吉川	二十六木橋	A	0.9	1.0		116
	北上川	前川	前川橋	AA	0.6	0.6		53		子吉川	子吉川	本荘大橋	B	0.9	1.0	○	117
	北上川	胆沢川	下嵐江	AA	0.6	0.6		54		最上川	最上川	上新田	B	1.1	1.3		118
	北上川	胆沢川	再巡橋	A	0.7	0.7		55		最上川	最上川	糠野目	A	1.3	1.5		119
	北上川	北上川	藤橋	A	1.0	1.2		56		最上川	鬼面川	吉島橋	A	0.8	1.1		120
	北上川	磐井川	上の橋	A	0.8	1.0		57		最上川	吉野川	築場橋	B	1.4	2.0		121
	北上川	磐井川	狐禅寺橋	A	1.2	1.3		58		最上川	最上川	梨郷	A	1.4	1.6		122
	北上川	北上川	狐禅寺	A	1.1	1.3	○	59		最上川	置賜白川	白川ダム	未	0.9	1.2		140
	北上川	砂鉄川	門崎橋	A	0.7	0.8		60		最上川	最上川	小出	A	1.2	1.2		123
	北上川	北上川	北上大橋	A	1.0	1.2		61		最上川	最上川	長崎	A	1.4	1.6		124
	北上川	北上川	北上川橋	A	1.1	1.2		62		最上川	須川	鯨洗	B	1.6	1.9		125
	北上川	北上川	大泉	A	1.0	1.0		63		最上川	須川	寺津	B	1.8	2.1		126
	北上川	北上川	登米	A	0.9	1.0		64		最上川	最上川	下野	A	1.6	2.0		127
	北上川	北上川	飯野川	A	1.0	1.0		65		最上川	寒河江川	中村	AA	1.1	1.2		128
	北上川	江合川	轟	AA	0.7	0.8		66		最上川	最上川	稲下	A	1.8	2.0		129
	北上川	江合川	大深沢	AA	2.3	0.7		67		最上川	村山野川	舟戸橋	A	1.8	2.7		130
	北上川	江合川	荒雄	B	1.0	1.2		68		最上川	丹生川	丹生川大橋	A	0.7	0.8		131
	北上川	江合川	短台	B	1.0	1.1		69		最上川	最上川	堀内	A	0.9	1.1		132
	北上川	旧北上川	和潤	A	0.9	1.0		70		最上川	鮭川	八千代橋	AA	0.7	0.8		133
北上川	旧北上川	鹿又	B	1.1	1.1		71	最上川	鮭川	戸沢橋	A	0.6	0.7		134		
北上川	旧北上川	門脇	B	0.7	0.8		72	最上川	最上川	高屋	A	0.8	0.8	○	135		
馬淵川	馬淵川	楠引橋	A	0.7	0.9		73	最上川	立谷沢川	東雲橋	A	0.6	<0.5		136		
馬淵川	馬淵川	尻内橋	B	0.7	0.8	○	74	最上川	相沢川	宝永橋	A	0.7	1.0		137		
馬淵川	馬淵川	大橋	B	0.7	0.7		75	最上川	最上川	砂越	A	0.8	1.0		138		
高瀬川	高瀬川	上野	A	0.6	0.6	○	76	最上川	最上川	両羽橋	A	0.7	0.8		139		
岩木川	岩木川	上岩木橋	A	0.6	0.6		77	赤川	赤川	東橋	A	0.6	0.5		141		
岩木川	岩木川	安東橋	A	0.6	0.6		78	赤川	赤川	蛾眉橋	A	0.7	0.7		142		
岩木川	浅瀬石川	朝日橋	A	0.8	0.8		79	赤川	赤川	新川橋(浜中)	A	0.7	0.8	○	143		
岩木川	平川	豊平橋	A	0.9	0.8		80	赤川	梵字川	月山ダム	未	0.6	0.7		144		
岩木川	平川	平川橋	A	1.0	1.0		81	久慈川	久慈川	山方	A	1.0	1.1		1		
岩木川	岩木川	幡竜橋	A	1.2	1.1		82	久慈川	久慈川	富岡橋	A	1.0	1.1		2		
岩木川	岩木川	鶴寿橋	A	1.1	1.2		83	久慈川	山田川	東橋	A	1.1	1.3		3		
岩木川	岩木川	乾橋	A	1.2	1.5	○	84	久慈川	里川	新落合橋	A	1.1	1.1		4		
岩木川	岩木川	三好橋	A	1.2	1.2		85	久慈川	久慈川	榭橋	A	1.0	1.3	○	5		
岩木川	岩木川	神田橋	A	1.2	1.3		86	那珂川	那珂川	新那珂橋	A	0.9	1.1		6		
岩木川	岩木川	津軽大橋	B	1.3	1.2		87	那珂川	那珂川	川堀	A	0.9	1.0		7		

注1) 報告下限値を0.5mg/lとして集計している。報告下限値を下回る地点は「<0.5」と表示している。
 注2) 類型が未指定の地点は類型を「未」と表示している。
 注3) ダム貯水池の地点名は下線を付けて表示している。本報告では、環境基準の満足状況の判定以外では、湖沼に準じてCODで評価される地点である。
 注4) 図7に○印を表示している調査地点は、一級河川的全調査地点のうち主要地点として「図-7 平成19年一級河川水質状況図」に抽出した地点である。
 注5) 図13に表示している番号は、「図-13 平成19年一級河川の水質状況図」に記載した調査地点の番号である。

4 (1) 一級河川的全調査地点の水質 (BOD調査地点) (8/8)

地方	水系名	河川名	地点名	BOD (mg/ℓ)				
				類型	平均値	75%値	図7	図13
九州	緑川	緑川	平木橋	B	1.1	1.4		90
	緑川	浜戸川	大曲	B	1.9	2.2		93
	球磨川	球磨川	多良木	A	0.8	0.8		73
	球磨川	球磨川	人吉	A	0.8	0.9		74
	球磨川	球磨川	西瀬橋	A	0.7	0.9		76
	球磨川	球磨川	天狗橋	A	0.7	1.0		75
	球磨川	球磨川	横石	B	0.7	0.7	○	77
	球磨川	球磨川	萩原橋	B	0.8	0.9		78
	球磨川	前川	前川橋	B	0.8	1.1		80
	球磨川	球磨川	金剛橋	B	0.8	1.0		79
	球磨川	川辺川	五木宮園	AA	0.5	<0.5		81
	球磨川	川辺川	神屋敷	AA	0.5	<0.5		82
	球磨川	川辺川	五木	AA	0.5	<0.5		83
	球磨川	川辺川	四浦	A	0.5	0.6		84
	球磨川	川辺川	柳瀬	A	0.6	0.5		85
	球磨川	五木小川	元井谷	AA	0.5	<0.5		86
	川内川	川内川	亀沢橋	A	1.0	0.8		65
	川内川	川内川	栗野	A	0.6	0.5		66
	川内川	羽月川	花北	未	0.6	0.6		72
	川内川	川内川	曾木大橋	A	0.7	0.6		67
	川内川	川内川	神子	A	0.7	0.7		68
	川内川	川内川	斧渕	A	0.8	0.9		69
	川内川	川内川	中郷	A	1.0	1.1	○	70
	川内川	川内川	小倉	B	1.3	1.6		71
	肝属川	肝属川	朝日橋	C	-	-		
	肝属川	下谷川	田崎橋	未	2.1	2.4		61
	肝属川	肝属川	河原田橋	C	3.1	3.7	○	58
	肝属川	始良川	始良橋	未	0.7	0.8		62
	肝属川	高山川	新前田橋	未	0.7	0.7		63
	肝属川	串良川	串良橋	A	1.1	1.2		64
	肝属川	肝属川	俣瀬	B	1.5	1.8		59
	肝属川	肝属川	第二有明橋	B	1.0	1.0		60
	大淀川	大淀川	岳下橋	A	1.8	1.9		44
	大淀川	年見川	宮丸橋	A	1.3	1.4		51
	大淀川	大淀川	志比田橋	B	2.1	2.2		45
	大淀川	大淀川	乙房橋	B	1.6	1.9		46
	大淀川	大淀川	樋渡橋	A	1	1.3		47
	大淀川	大淀川	大ノ丸橋	A	1.3	1.4		48
	大淀川	本庄川	綾南川橋	A	0.6	0.6		53
	大淀川	本庄川	本庄橋	A	0.7	0.7		54
	大淀川	綾北川	入野橋	A	0.6	0.6		52
	大淀川	深年川	太田原橋	A	0.8	1.0		56
	大淀川	本庄川	柳瀬橋	A	0.7	0.9		55
	大淀川	大淀川	相生橋	A	1.1	1.3	○	49
	大淀川	大淀川	小戸之橋	A	0.9	1.1		50
	大淀川	八重川	番所橋	未	1.1	1.2		57
	小丸川	小丸川	高城橋	AA	0.5	0.5	○	41
	小丸川	小丸川	高鍋大橋	A	0.7	0.8		42
小丸川	宮田川	宮田川水門	B	1.7	2.1		43	
五ヶ瀬川	五ヶ瀬川	三輪	A	0.5	<0.5		35	
五ヶ瀬川	大瀬川	大瀬橋	A	0.6	0.7		37	
五ヶ瀬川	大瀬川	浜砂	A	0.6	0.6		38	
五ヶ瀬川	五ヶ瀬川	松山	A	0.7	0.9	○	36	
五ヶ瀬川	祝子川	中州合流点	A	1.2	1.9		39	
五ヶ瀬川	北川	白石	A	0.7	0.7		40	
番匠川	番匠川	番匠橋	A	0.5	<0.5	○	31	
番匠川	番匠川	水路橋	B	0.9	1.2		32	
番匠川	堅田川	茶屋ヶ鼻橋	A	0.9	1.1		34	
番匠川	番匠川	番匠川河口	B	0.8	0.9		33	
大野川	大野川	白滝橋	A	0.7	0.8	○	27	
大野川	乙津川	海原橋	A	1.2	1.3		30	
大野川	大野川	鶴崎橋	A	1.8	2.1		28	
大野川	大野川	家島	A	1.3	1.7		29	
大分川	大分川	明礮橋	A	0.9	1.0		22	

地方	水系名	河川名	地点名	BOD (mg/ℓ)				
				類型	平均値	75%値	図7	図13
九州	大分川	七瀬川	光吉	A	0.6	0.7		26
	大分川	大分川	府内大橋	A	0.9	1.0	○	23
	大分川	大分川	広瀬橋	B	1.2	1.3		24
	大分川	大分川	弁天大橋	B	1.0	1.1		25
	山国川	山移川	耶馬溪ダムYL-1	未	3.2	3.3		149
	山国川	山国川	上曾木	A	0.8	0.9		16
	山国川	山国川	下唐原	A	0.9	1.1	○	17
	山国川	山国川	下宮永	A	1.0	1.2		18
	山国川	山国川	山国橋	A	0.8	0.9		19
	山国川	山国川	柿坂	A	0.8	0.9		15
	山国川	中津川	北門橋	未	0.8	0.9		21
	山国川	山国川	小祝	A	0.8	0.9		20
	嘉瀬川	嘉瀬川	官人橋	A	0.8	1.0	○	125
	嘉瀬川	嘉瀬川	石井樋	A	0.7	0.6		126
嘉瀬川	嘉瀬川	嘉瀬橋	A	1.7	2.3		127	
嘉瀬川	嘉瀬川	久保田橋	D	2.0	2.7		128	

- 注1) 報告下限値を0.5mg/ℓとして集計している。報告下限値を下回る地点は「<0.5」と表示している。
 注2) 類型が未指定の地点は類型を「未」と表示している。
 注3) ダム貯水池の地点名は下線を付けて表示している。本報告では、環境基準の満足状況の判定以外では、湖沼に準じてCODで評価される地点である。
 注4) 図7に○印を表示している調査地点は、一級河川的全調査地点のうち主要地点として「図-7 平成19年一級河川水質状況図」に抽出した地点である。
 注5) 図13に表示している番号は、「図-13 平成19年一級河川の水質状況図」に記載した調査地点の番号である。

4 (3) 一級河川的全調査地点の水質 (河川類型指定ダム貯水池のCOD値)

(1/1)

地方	水系名	河川名	地点名	COD (mg/ℓ)		
				平成19年		
				類型	平均値	75%値
北海道	天塩川	天塩川	岩尾内ダム	AA	2.2	2.3
	石狩川	石狩川	大雪ダム	AA	2.7	3.2
	石狩川	忠別川	忠別ダム	A	1.3	1.6
	石狩川	空知川	金山ダム	AA	4.0	4.5
	石狩川	空知川	滝里ダム	A	3.3	3.9
	石狩川	幾春別川	桂沢ダム	A	3.8	3.9
	石狩川	漁川	漁川ダム	未	1.7	1.7
	石狩川	豊平川	豊平峡ダム	A	2.3	2.4
	石狩川	小樽内川	定山溪ダム	未	2.1	2.1
	後志利別川	後志利別川	美利河ダム	AA	1.9	2.0
	沙流川	沙流川	二風谷ダム	B	2.7	3.5
	十勝川	十勝川	十勝ダム	AA	2.7	2.8
	十勝川	札内川	札内川ダム	AA	2.0	2.2
	常呂川	常呂川	鹿ノ子ダム	A	4.3	4.4
東北	阿武隈川	大滝根川	三春ダム	未	3.7	4.2
	阿武隈川	摺上川	摺上川ダム	未	1.9	2.0
	雄物川	玉川	玉川ダム	未	0.9	1.2
	最上川	置賜白川	白川ダム	未	2.1	2.3
関東	利根川	男鹿川	五十里ダム(心)	AA	1.4	1.6
	荒川	浦山川	浦山ダム(心)	未	1.5	1.8
北陸	荒川	大石川	大石ダム	未	2.9	3.4
	信濃川	高瀬川	大町ダム	AA	1.3	1.4
	信濃川	三国川	三国川ダム	未	1.2	1.3
	黒部川	黒部川	宇奈月ダム	AA	1.1	1.3
	手取川	手取川	手取川ダム	A	1.4	1.5
中部	天竜川	三峰川	美和ダム	A	1.2	1.4
	天竜川	小渋川	小渋ダム	AA	2.2	2.5
	天竜川	大入川	新豊根ダム	未	1.7	1.8
	矢作川	矢作川	矢作ダム(貯水池)	AA	2.1	2.2
	木曽川	阿木川	阿木川ダム	A	2.4	2.5
	木曽川	木曽川	丸山ダム	A	1.7	2.0
	木曽川	馬瀬川	岩屋ダム	AA	1.1	1.1
	木曽川	木曽川	味噌川ダム	AA	1.1	1.2
	櫛田川	蓮川	蓮ダム	未	1.8	2.0
近畿	紀の川	紀の川	大滝ダム湖ダムサイト	AA	1.7	2.0
	淀川	宇治川	大峰橋(天ヶ瀬ダム)	A	3.2	3.3
	淀川	青蓮寺川	青蓮寺ダム湖	未	4.0	4.3
	淀川	名張川	高山ダム	未	3.8	3.9
	淀川	名張川	比奈知ダム湖	A	2.3	2.6
	淀川	桂川	貯水池基準点(日吉ダム)	A	1.4	1.6
	淀川	一庫大路次川	一庫ダム	未	3.2	3.3
	九頭竜川	九頭竜川	九頭竜ダム湖	AA	1.5	1.9
	九頭竜川	真名川	真名川ダム湖	未	1.4	1.6
中国	日野川	印賀川	菅沢ダム	未	2.8	2.7
	吉井川	吉井川	菅田ダム	A	2.0	2.2
四国	重信川	石手川	石手川ダム	AA	2.8	3.1
	肱川	肱川	野村ダム	A	2.7	3.0
	渡川	中筋川	中筋川ダム	B	2.5	2.7
	仁淀川	仁淀川	大渡ダム	AA	1.7	1.8
	那賀川	那賀川	長安口ダム	AA	1.4	1.5
	吉野川	銅山川	富郷ダム	AA	1.5	1.6
	吉野川	吉野川	池田ダム	A	1.6	1.7
九州	松浦川	巖木川	巖木ダムK-1	A	1.8	1.9
	筑後川	津江川	下釜ダムS-1	未	2.1	2.0
	山国川	山移川	耶馬溪ダムYL-1	未	4.6	4.8

注1)河川類型ダム貯水池は、本報告では、環境基準の満足状況の判定以外では、湖沼に準じてCODで評価される地点である。
 注2) 報告下限値を0.5mg/lとして集計している。報告下限値を下回る地点は「<0.5」と表示している。
 注3) 類型が未指定の地点は類型を「未」と表示している。

4 (4) 一級河川の全調査地点の水質状況図

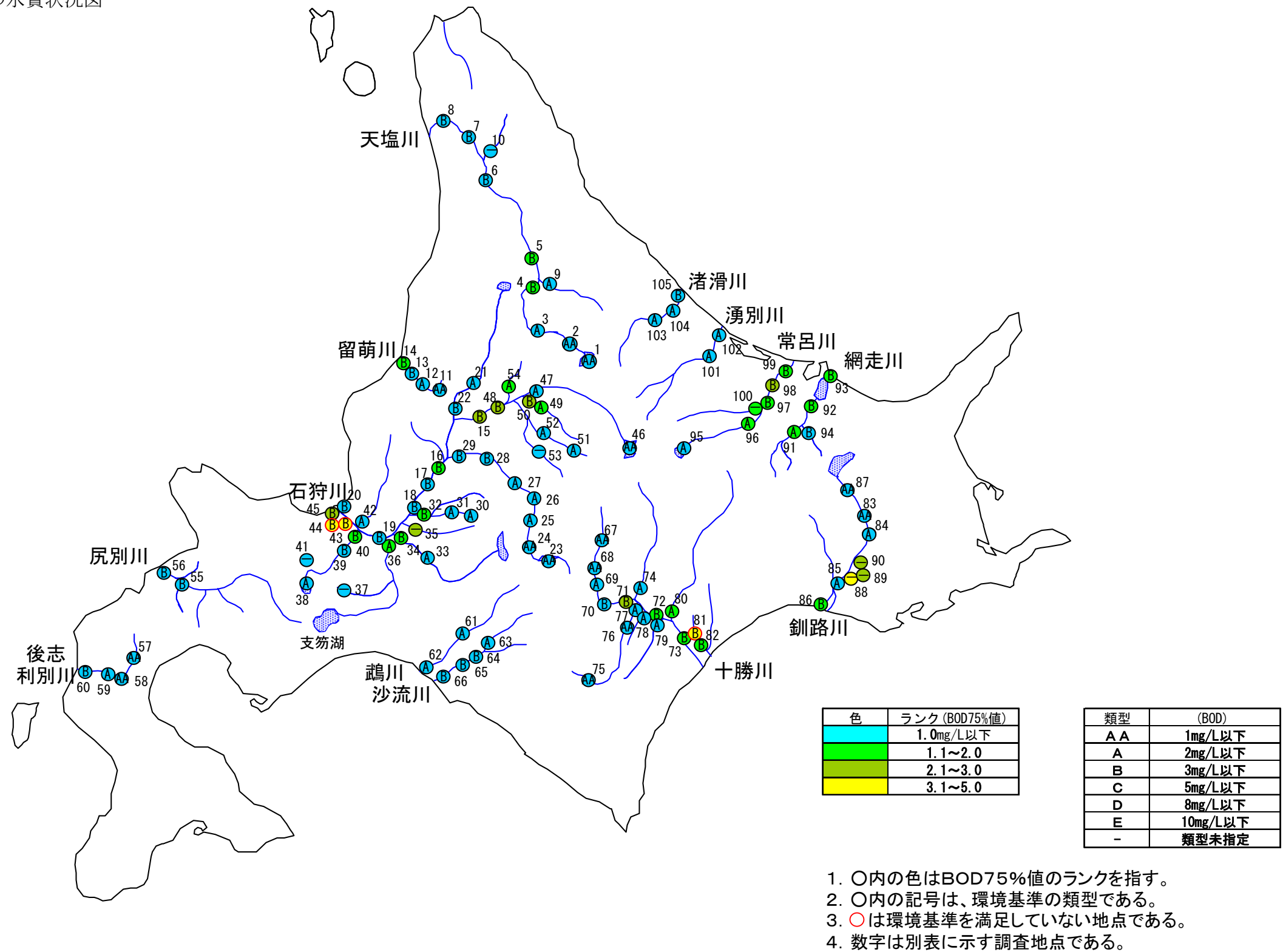


図-13 (1) 平成19年一級河川の水質状況図 (北海道)

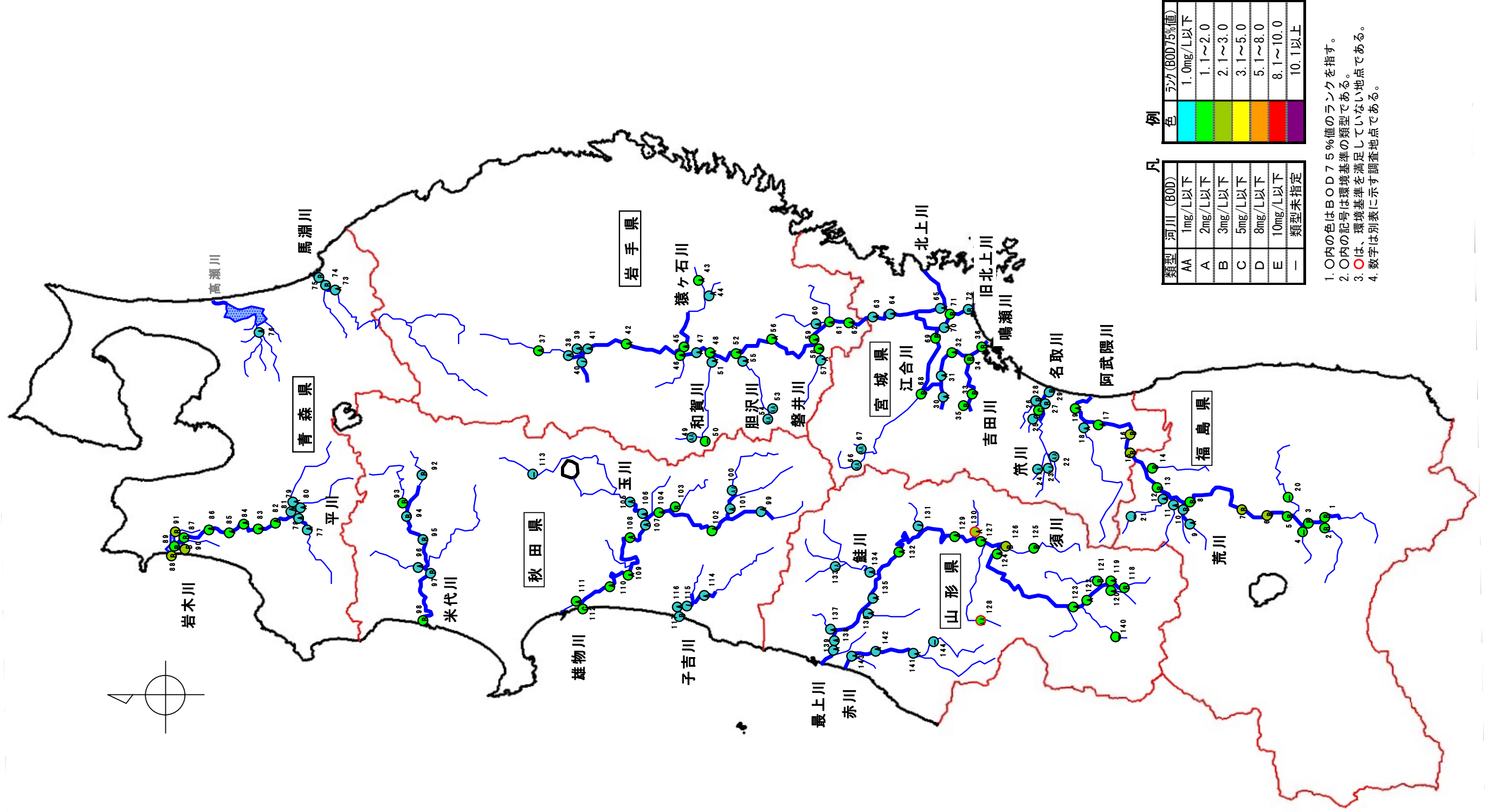


図-13 (2) 平成19年一級河川の水質状況図 (東北)

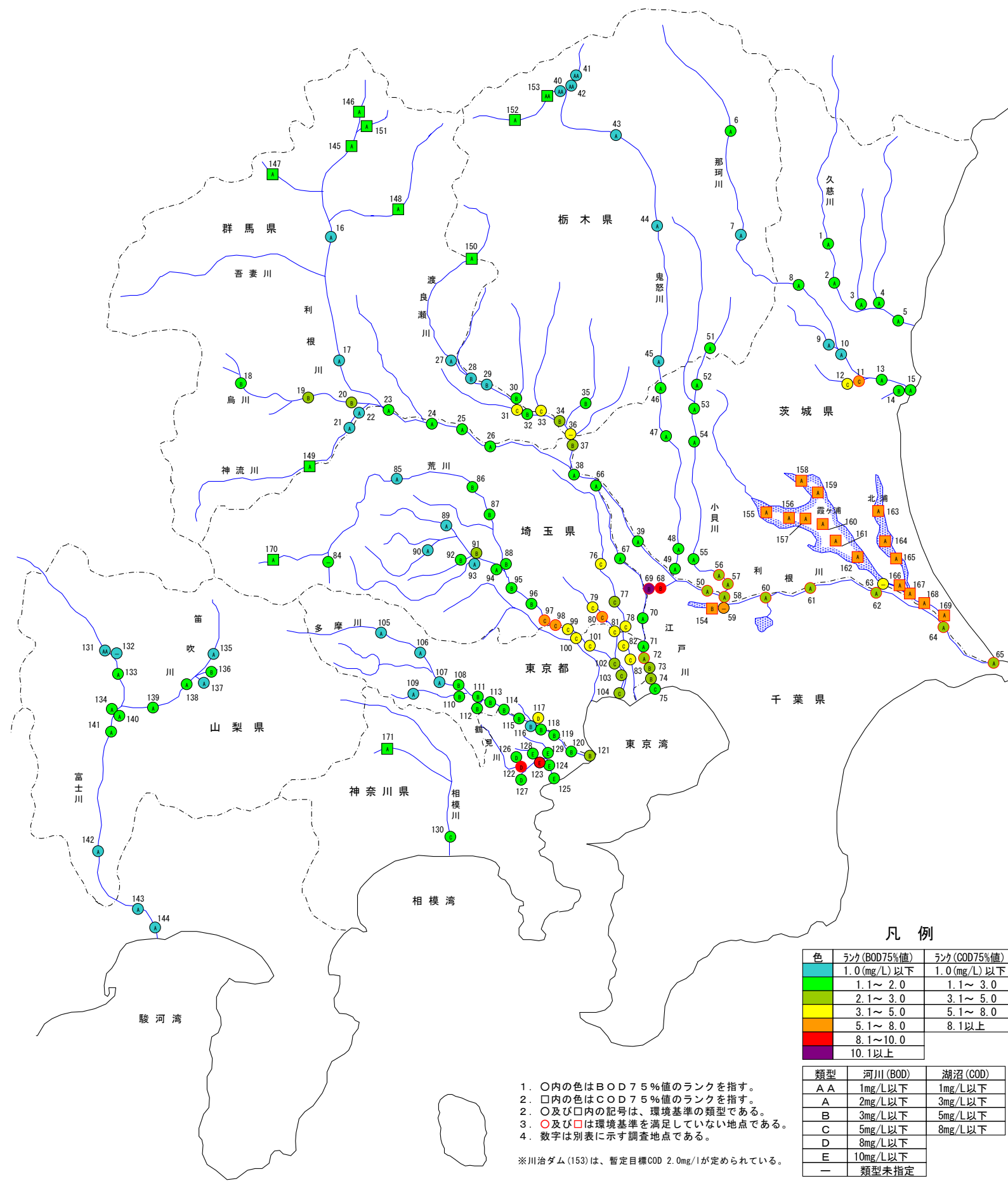


図-13 (3) 平成19年一級河川の水質状況図(関東)

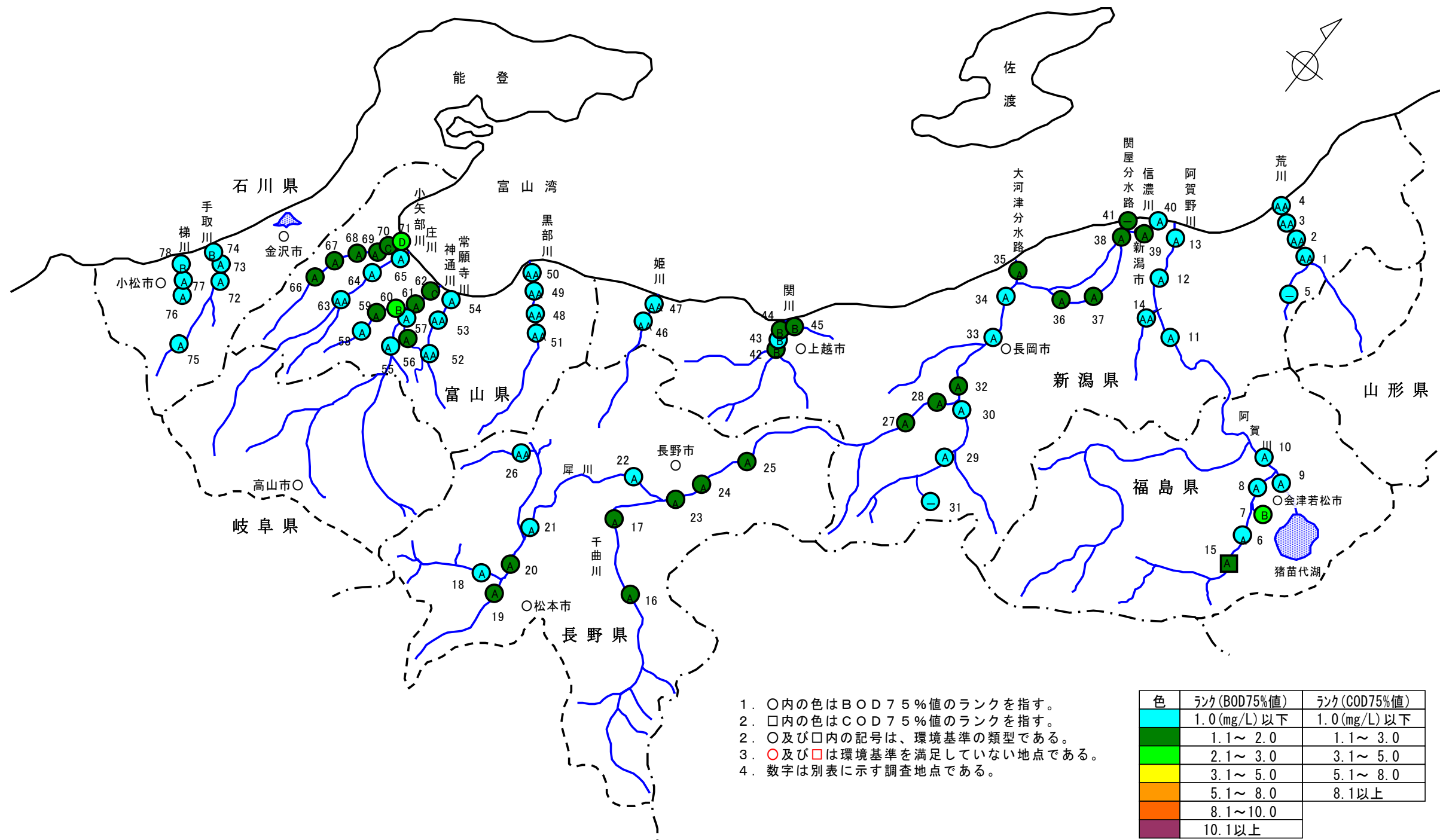
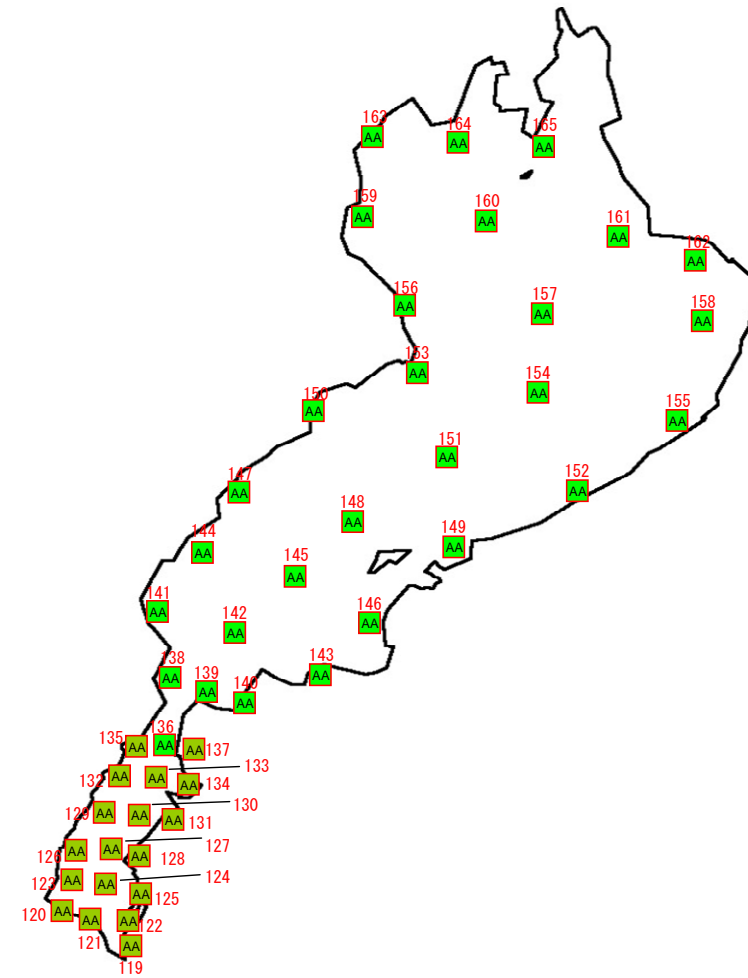
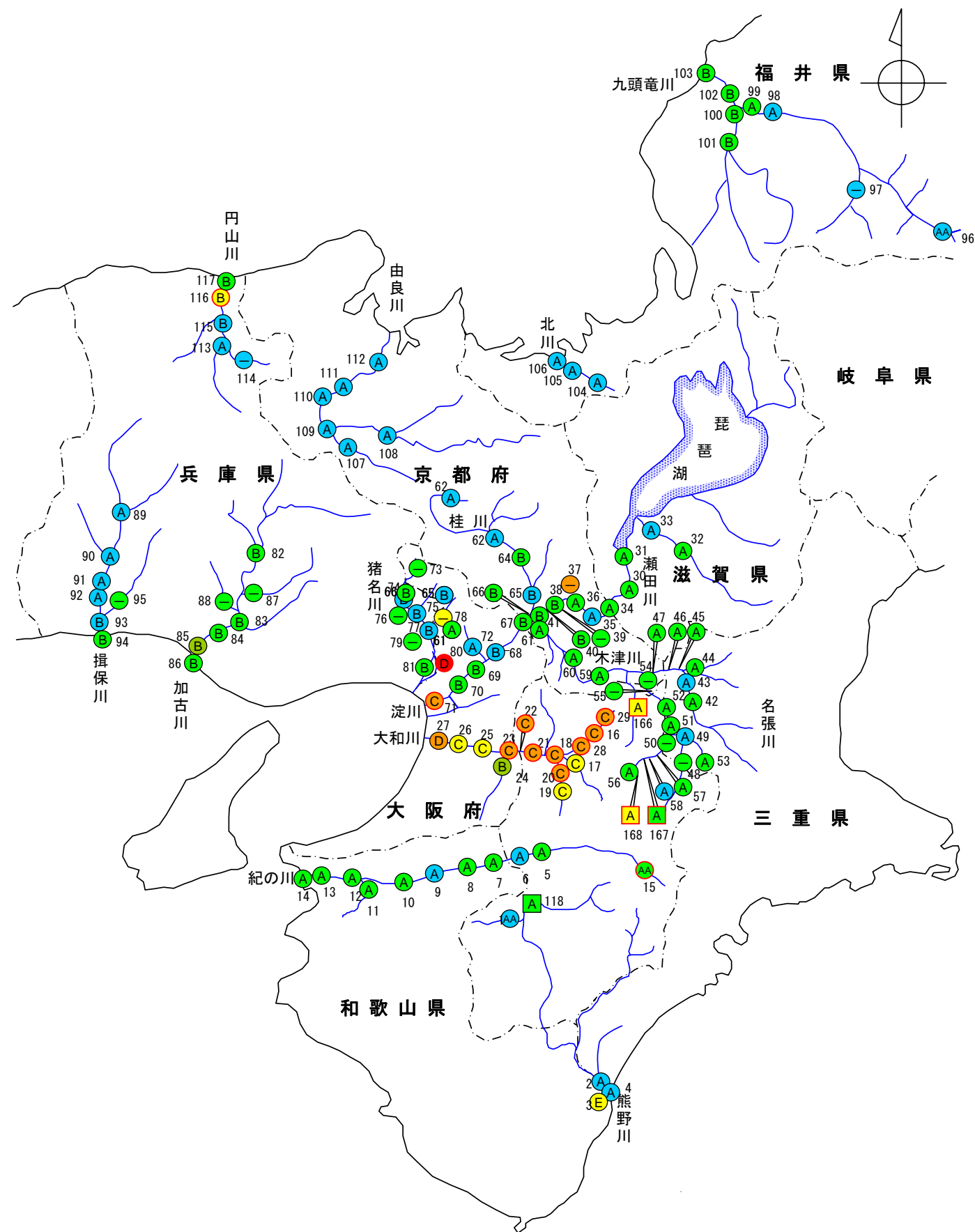


図-13 (4) 平成19年一級河川の水質状況図 (北陸)



色	ランク(BOD)	ランク(COD)
青	1.0以下(mg/L)	1.0以下(mg/L)
緑	1.1~2.0	1.1~3.0
黄緑	2.1~3.0	3.1~5.0
黄	3.1~5.0	5.1~8.0
オレンジ	5.1~8.0	8.1以上
赤	8.1~10.0	
紫	10.1以上	

類型	河川(BOD)	湖沼(COD)
AA	1mg/L以下	1mg/L以下
A	2mg/L以下	3mg/L以下
B	3mg/L以下	5mg/L以下
C	5mg/L以下	8mg/L以下
D	8mg/L以下	
E	10mg/L以下	
-	類型未指定	

- 1.○は河川水質(BOD) 3.○及び□内の記号は、環境基準の類型である。
- 2.□は湖沼水質(COD) 4.○及び□は、環境基準値を満足していない地点である。
- 5.数字は別表に示す調査地点である。

図-13 (6) 平成19年一級河川の水質状況図 (近畿)

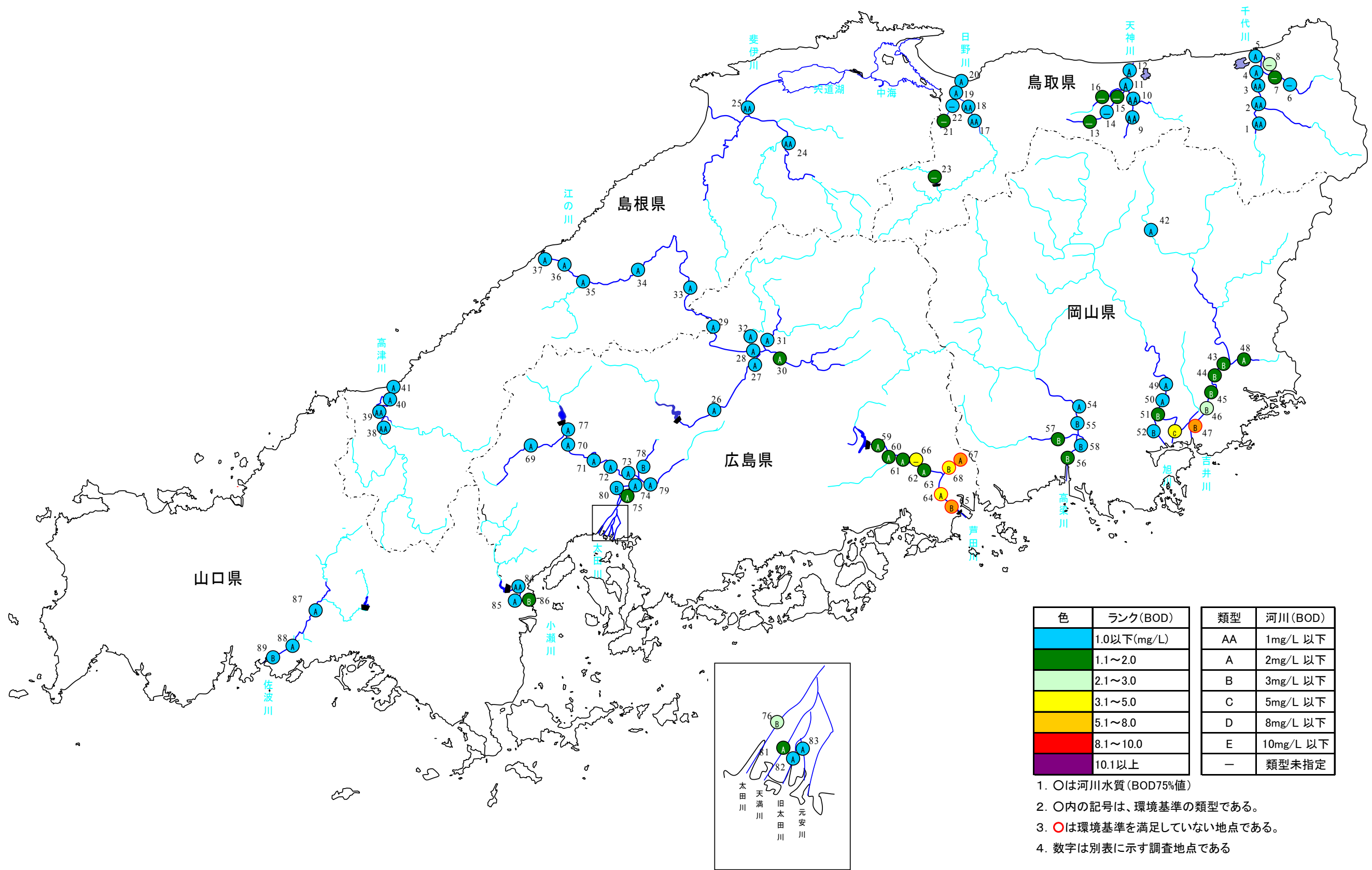
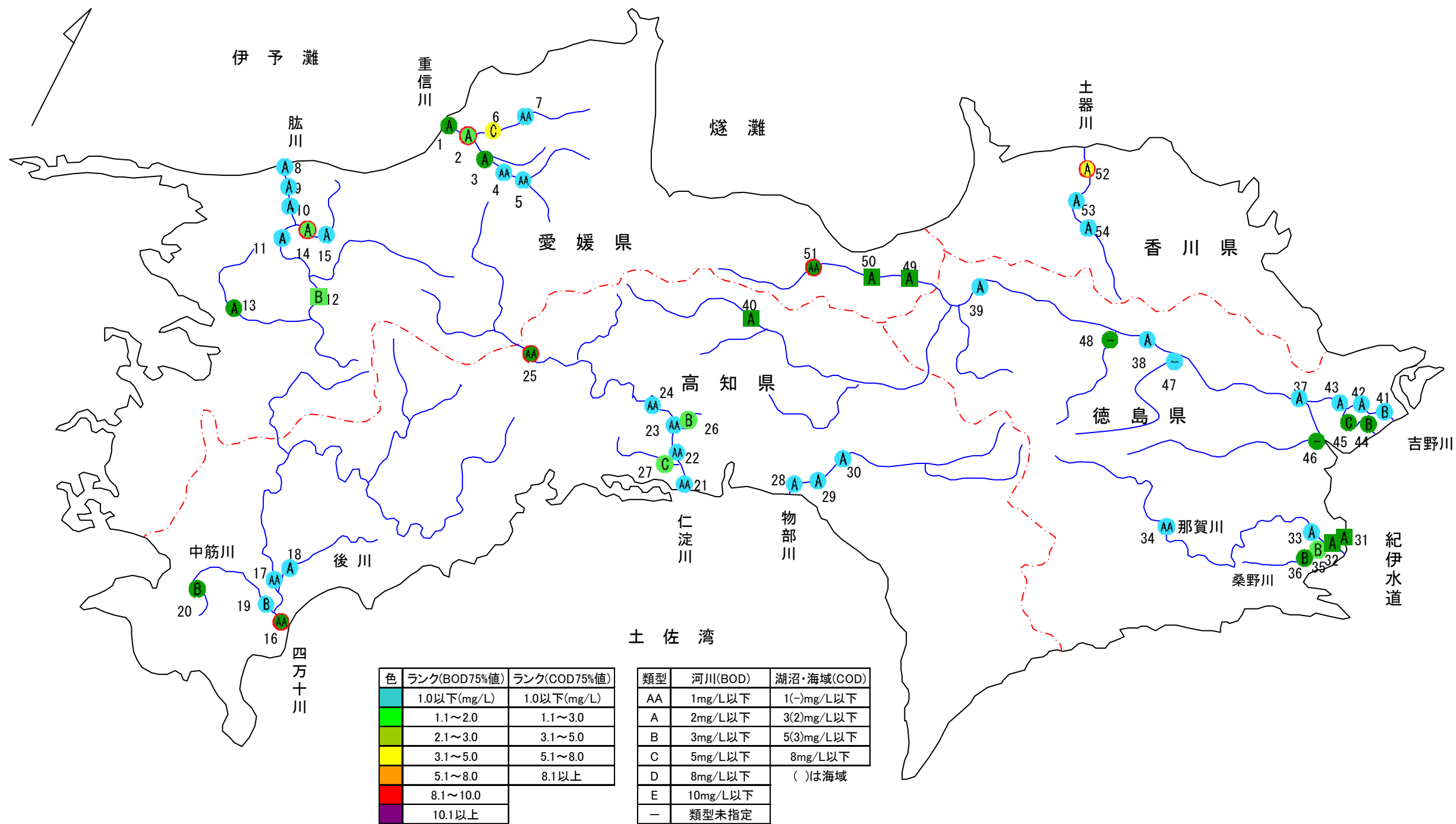


図-13 (7) 平成19年一級河川の水質状況図 (中国)



- は河川水質(BOD75%値)
- は湖沼・海域水質(COD75%値)
- 、□内の色はBOD75%値、COD75%値のランクを示す。
- 、□内の記号は、環境基準の類型である。
- 、□は環境基準を満足していない地点である。
- 数字は別表に示す調査地点である。

図-13 (8) 平成19年一級河川の水質状況図 (四国)

5. 新しい水質指標からみた水質の現況

1) 新しい水質指標とは

新しい水質指標とは、人と河川のふれあいや生態系への関心など、多様な視点で河川が捉えられるようになってきている現在の状況を鑑み、河川をBODだけでなく多様な視点で評価できるように検討された指標である。評価の視点は、「人と河川の豊かなふれあいの確保」「豊かな生態系の確保」「利用しやすい水質の確保」「下流域や滞留水域に影響の少ない水質の確保」の4つに渡り、「下流域や滞留水域に影響の少ない水質の確保」以外の視点について評価項目と評価レベルが設定されているが^{注15}、このうち「人と河川の豊かなふれあいの確保」「豊かな生態系の確保」では、一部の評価項目を住民と河川管理者とが協働で調査することとしている。

新しい水質指標は、平成17年3月に「今後の新しい水質指標（案）について」（国土交通省河川局河川環境課）としてとりまとめられ、これに基づく調査が、平成17年4月よりほぼ全ての一級水系の直轄区間を対象に実施されている。

2) 実施水系・地点数

「人と河川の豊かなふれあいの確保」「豊かな生態系の確保」「利用しやすい水質の確保」の平成19年の調査実施状況を表-4に示す。

「人と河川の豊かなふれあいの確保」「豊かな生態系の確保」では、調査を実施した水系のうち、ほとんどの水系で住民の参加があり、調査地点数では昨年を上回っている（H18 住民協働調査地点 「ふれあい」・242 地点、「生態系」・243 地点： H19 「ふれあい」・259 地点、「生態系」・260 地点）。

「利用しやすい水質の確保」では、該当する地点が限られるため^{注16}、水系数・地点数ともに「ふれあい」や「生態系」よりも少なかったが、過半数を超える水系で実施された。

^{注15} 一般的に滞留水域の水質と滞留水域に流入する河川の水質は異なり、現状の知見では下流域への影響を与える河川水質濃度を評価することは困難であることから、「下流域や滞留水域に影響の少ない水質の確保」の視点では、評価項目やランク、評価レベルは定めず、今後の課題としている。

^{注16} 「利用しやすい水質の確保」は、水道水源としての利用しやすさを評価する指標項目であることから、主に上水道取水がある水域を調査対象範囲としている。

表-4 調査を実施した水系数と地点数

地方名	水系数	人と河川の豊かなふれあいの確保		豊かな生態系の確保		利用しやすい水質の確保	
		水系数	地点数	水系数	地点数	水系数	地点数
北海道	13	13 (13)	32 (29)	13 (13)	29 (29)	7	14
東北	12	11 (11)	30 (27)	9 (9)	27 (24)	5	9
関東	8	5 (5)	33 (22)	5 (5)	30 (20)	5	32
北陸	12	12 (12)	26 (23)	12 (12)	25 (22)	3	5
中部	13	13 (12)	38 (31)	13 (12)	46 (34)	9	17
近畿	10	9 (9)	29 (27)	10 (10)	35 (28)	6	29
中国	13	13 (11)	31 (29)	13 (13)	25 (25)	12	16
四国	8	7 (7)	33 (20)	7 (7)	24 (22)	5	8
九州	20	20 (20)	53 (51)	20 (20)	57 (56)	11	15
計	109	103 (100)	305 (259)	102 (101)	298 (260)	63	145

3) 住民参加人数

住民との協働による測定を実施する「人と河川の豊かなふれあいの確保」「豊かな生態系の確保」では、ともに7000人を越える住民の参加をいただいた。どの地方でも子供(15歳以下)の割合が多かった(図-14)。

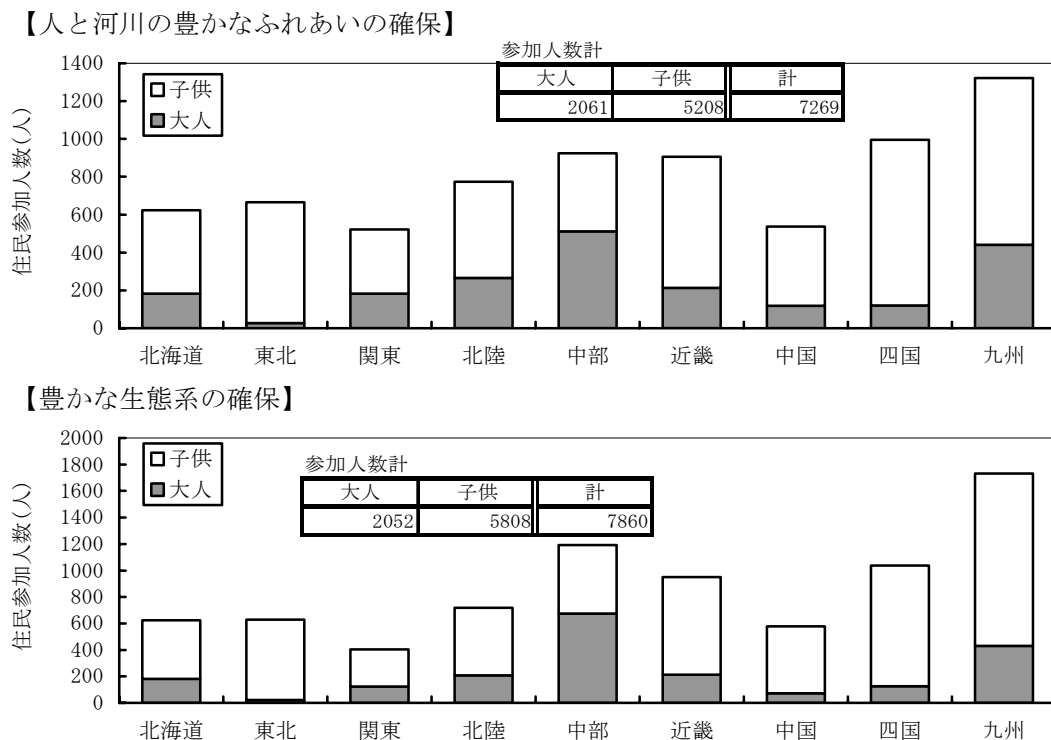


図-14 調査に参加した住民の人数(延べ人数)^{注17}

注17 例えば、1人が2つの地点を調査した場合は、2人として集計している。